

**第3章**  
**子育て支援サービスの現状と**  
**今後の利用希望**



## 第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

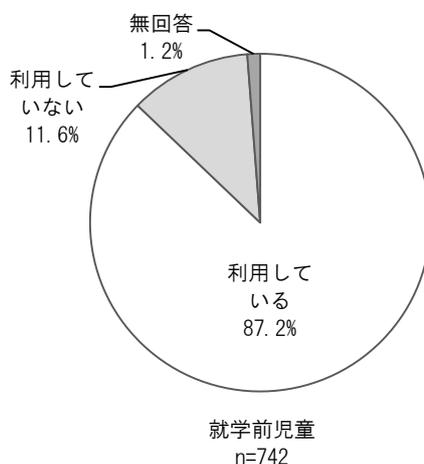
### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

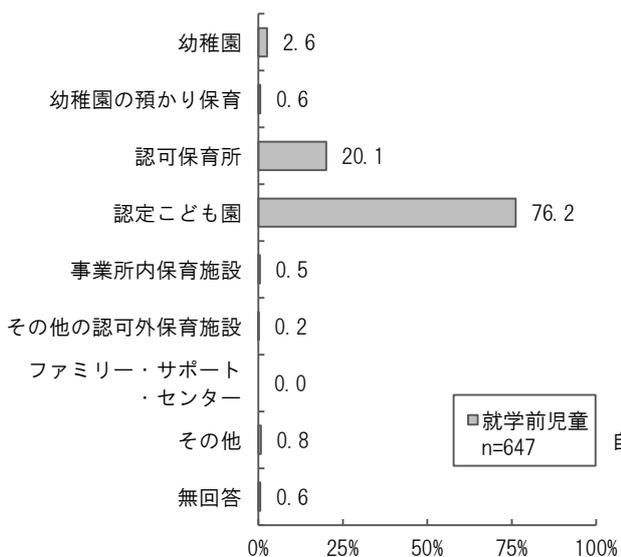
○定期的な教育・保育事業を「利用している」方は87.2%となっています。

○利用中の事業をみると、「認定こども園」は76.2%、「認可保育所」は20.1%の方が利用しています。一方、今後の利用希望では、現在実施していない事業もわずかですがあげられています。

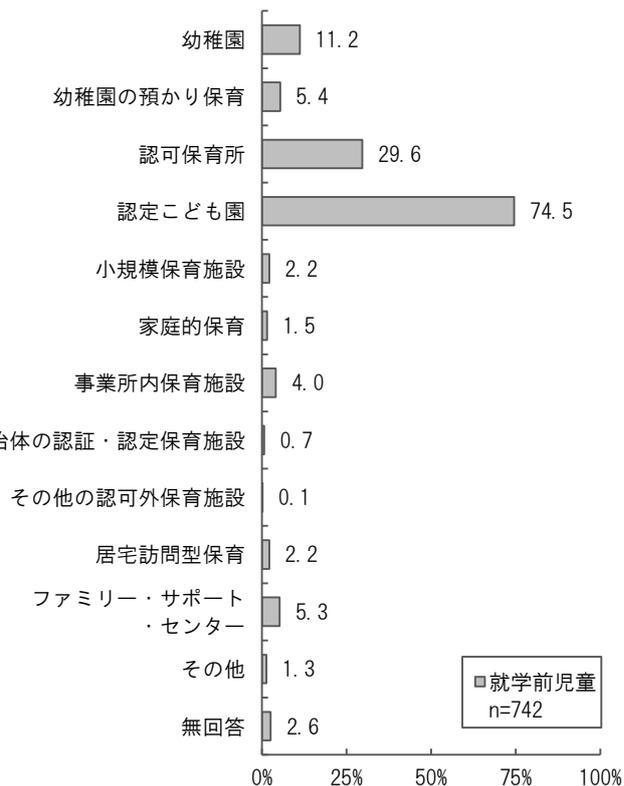
問15 定期的な教育・保育事業の利用状況



問15-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

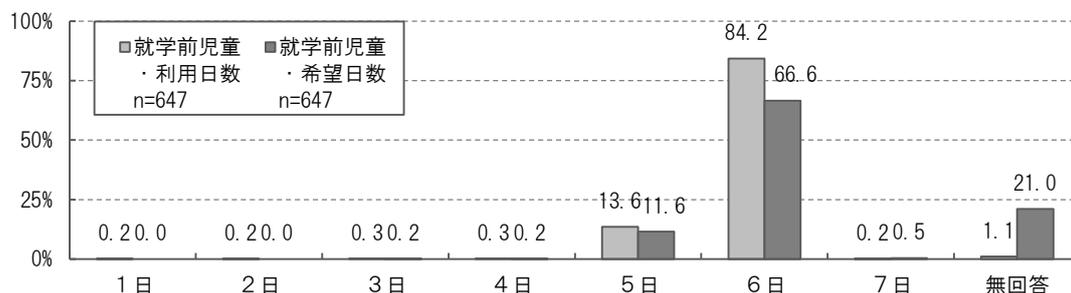


問16 希望する定期的な教育・保育事業

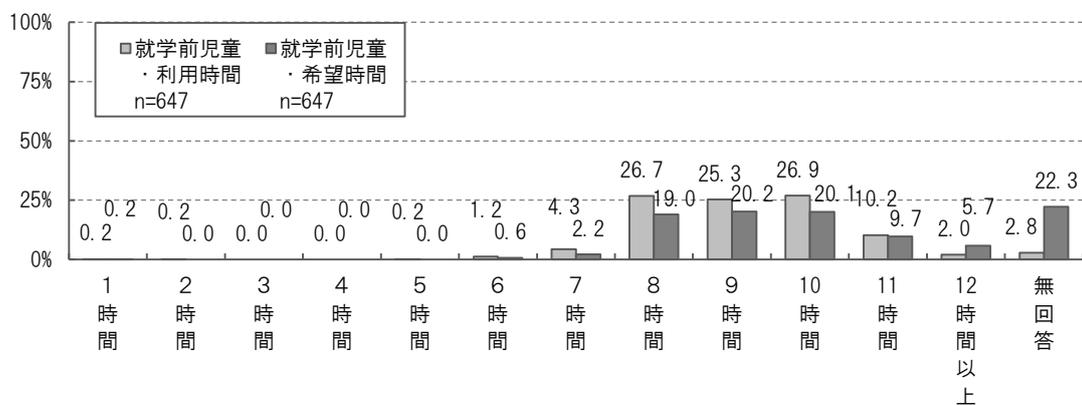


- 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数をみると、利用では「6日」(84.2%)、「5日」(13.6%)の順となり、希望も同様に「6日」(66.6%)、「5日」(11.6%)の順となっています。
- 利用時間と希望時間について、利用では「8時間」～「10時間」が2割台、希望も同様に「8時間」～「10時間」で2割前後と高くなっています。
- 利用時間と希望時間の差をみると「8時間」～「11時間」では利用時間より希望時間の割合が低く、「12時間以上」では利用時間より希望時間の割合が高い傾向にあります。

問15-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

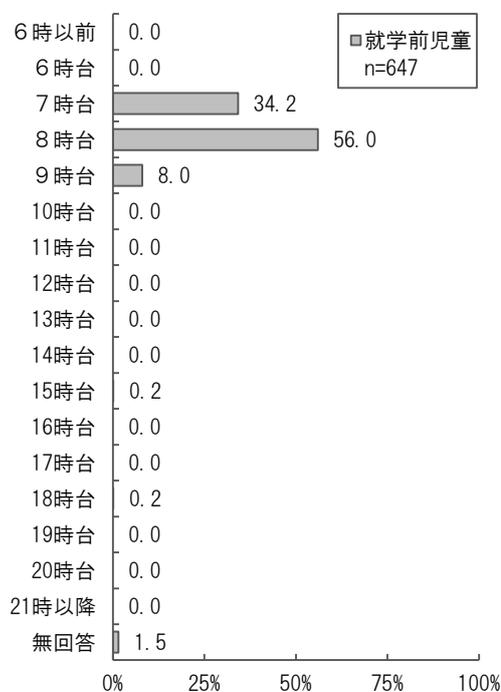


問15-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

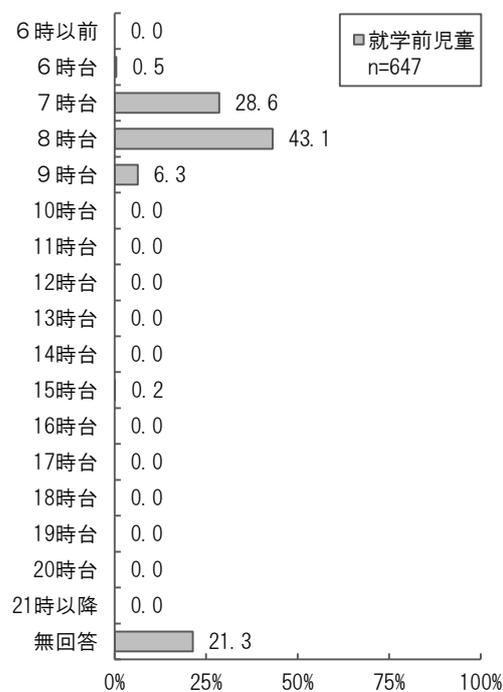


- 利用開始時間・希望開始時間ともに、「7時台」「8時台」で割合が高くなっています。
- 利用終了時間・希望終了時間ともに、「16時台」～「18時台」で割合が高くなっています。

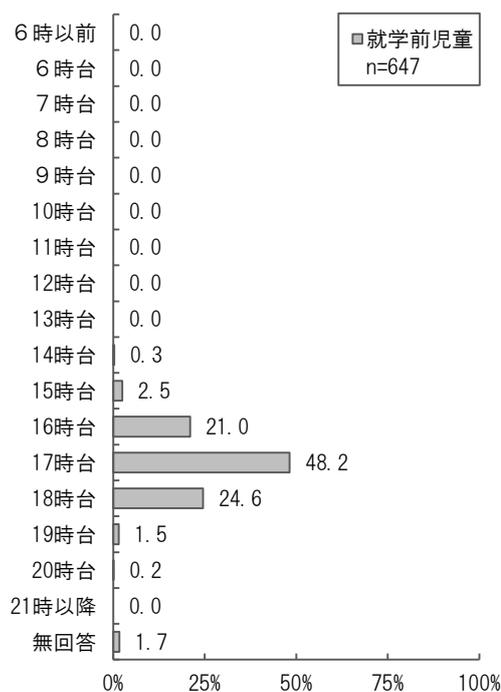
問15-2(1) 利用開始時間



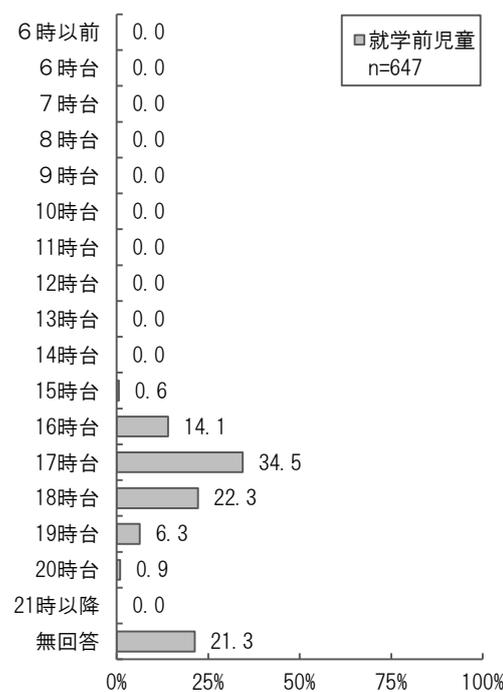
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



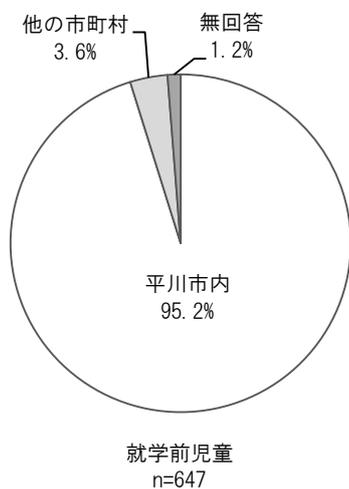
問15-2(2) 希望終了時間



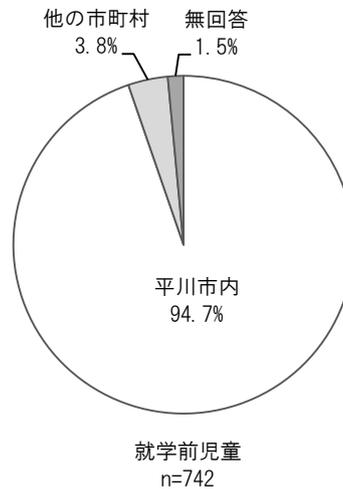
○現在利用している教育・保育事業の実施場所、また、教育・保育事業を利用したい希望実施場所は、いずれも「平川市内」が9割以上となっています。

○幼稚園の利用を強く希望していると回答した割合は3割強となっています。

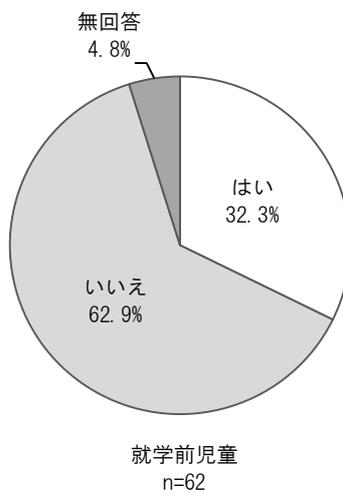
問15-3 教育・保育事業の実施場所



問16-1 教育・保育事業の希望実施場所



問16-2 幼稚園の利用意向（強く希望）の有無

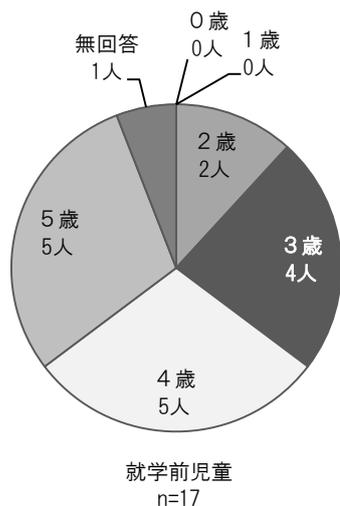


① 幼稚園利用者の状況

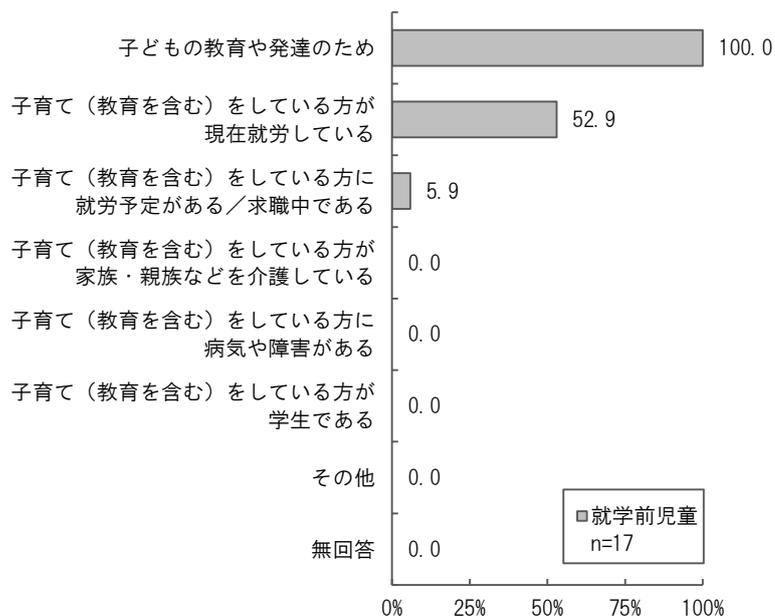
○幼稚園を利用していると回答した17人の年齢の内訳は以下のとおりです。

○幼稚園を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(100.0%)が最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」(52.9%)となっています。

問15-1 幼稚園の年齢別利用者数



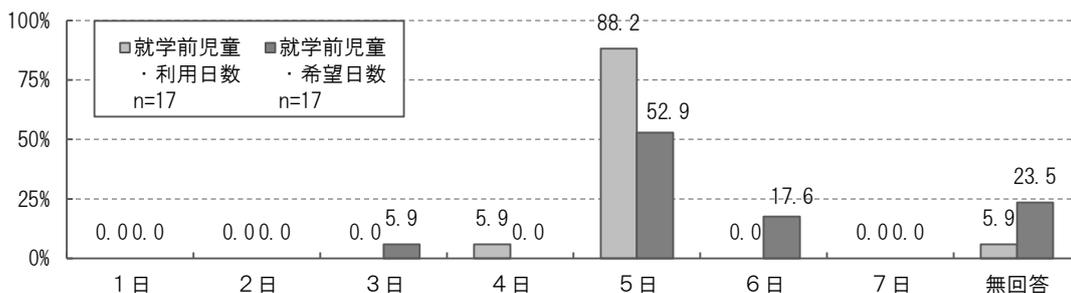
問15-4 幼稚園を利用している理由



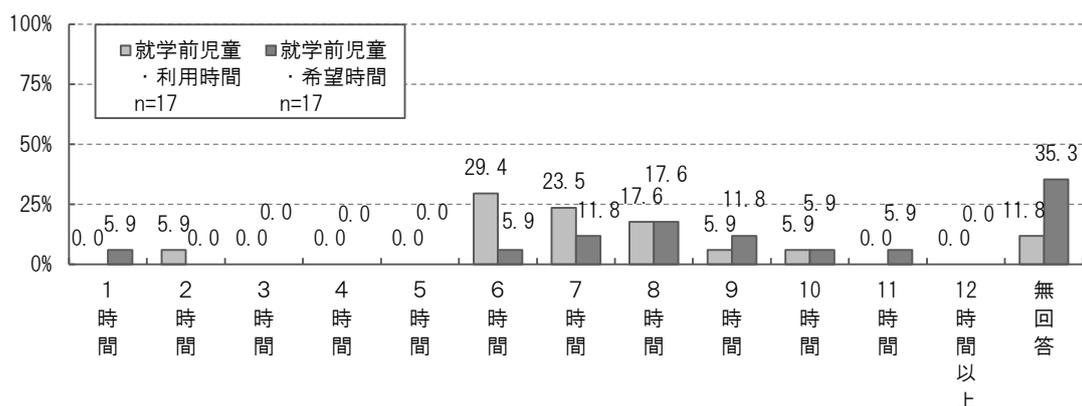
○幼稚園の利用日数と希望日数をみると、利用・希望ともに「5日」(88.2%・52.9%)の割合が最も高くなっています。また、「6日」は実際の利用はないものの、17.6%が希望しています。

○利用時間と希望時間について、利用では「6時間」～「8時間」(29.4%～17.6%)、希望では「7時間」～「9時間」(11.8%～17.6%)の割合が高くなっています。

問15-2(1)(2) 幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)

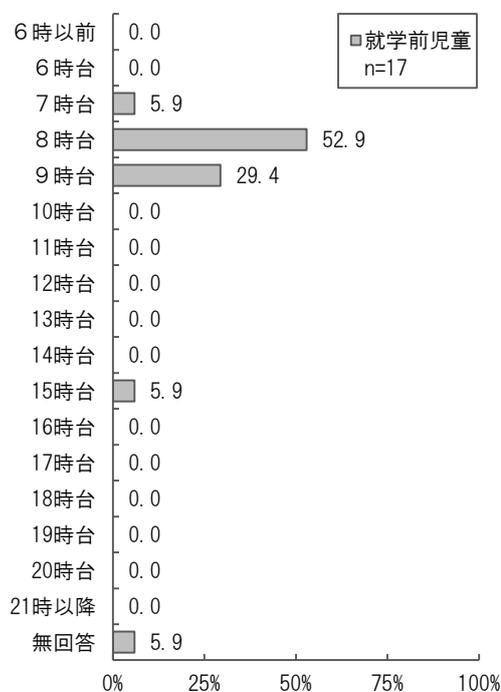


問15-2(1)(2) 幼稚園の利用時間と希望時間(1日当たり)

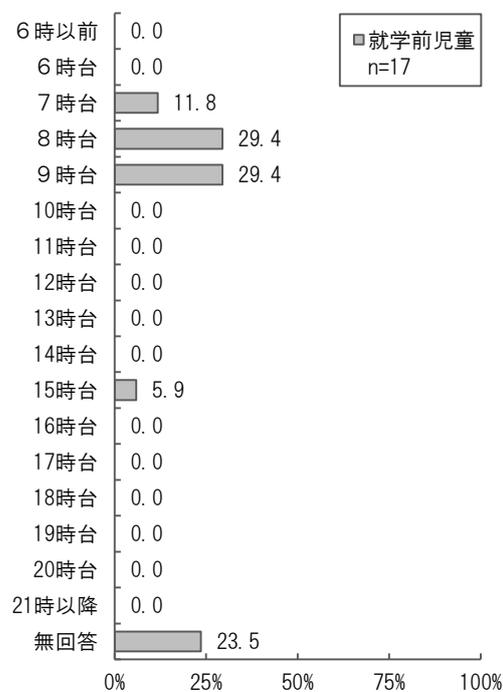


- 利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」「9時台」で割合が高くなっています。
- 利用終了時間は6割以上が「15時台」と回答しています。一方、希望終了時間は「16時台」が29.4%、「17時台」が23.5%と高くなっています。

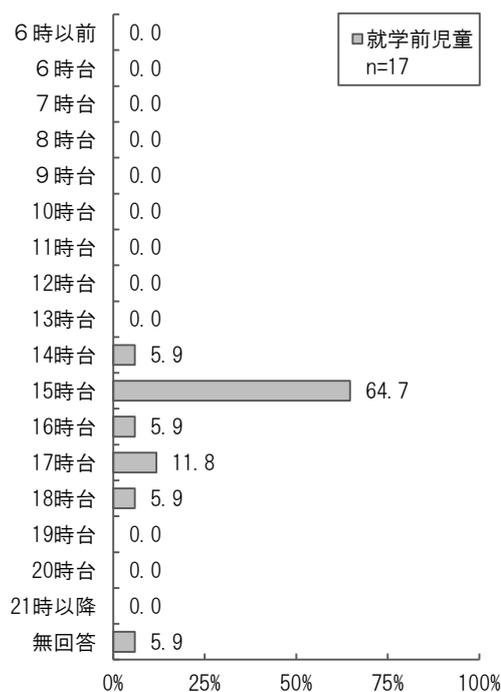
問15-2(1) 利用開始時間



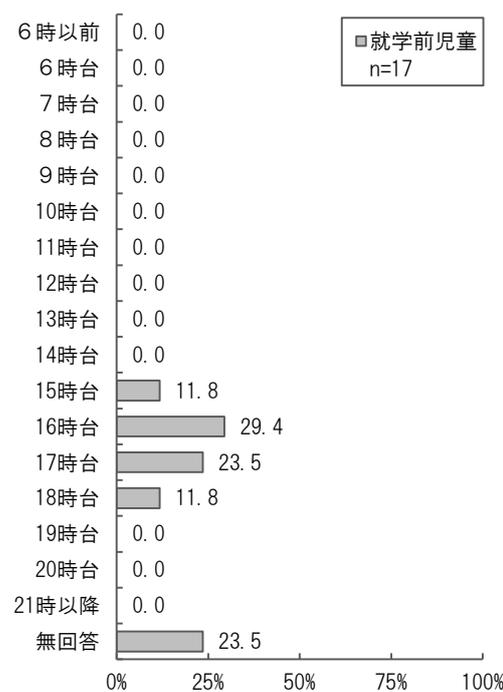
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



問15-2(2) 希望終了時間

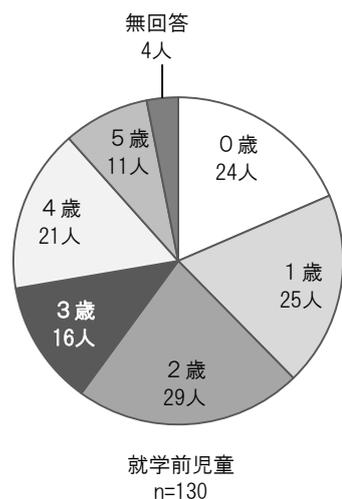


## ② 認可保育所利用者の状況

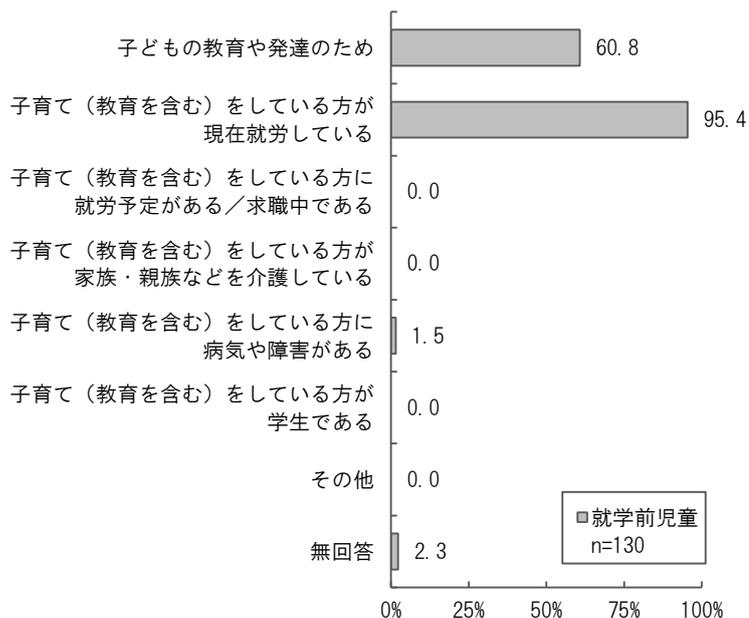
○認可保育所を利用していると回答した130人の年齢の内訳は以下のとおりです。

○認可保育所を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（95.4%）、「子どもの教育や発達のため」（60.8%）をあげた割合が高くなっています。

問15-1 認可保育所の年齢別利用者数

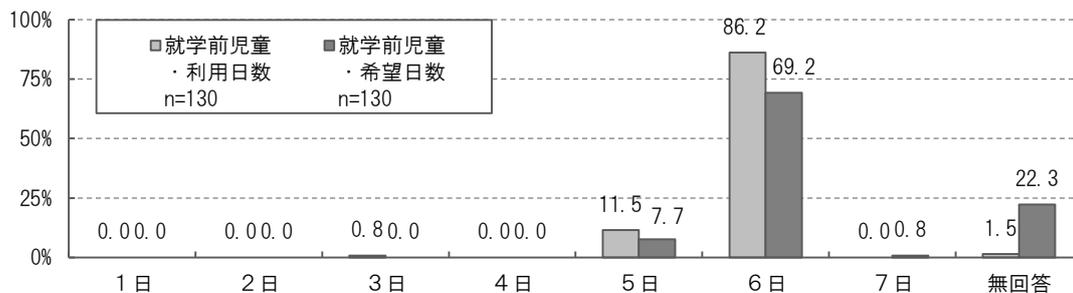


問15-4 認可保育所を利用している理由

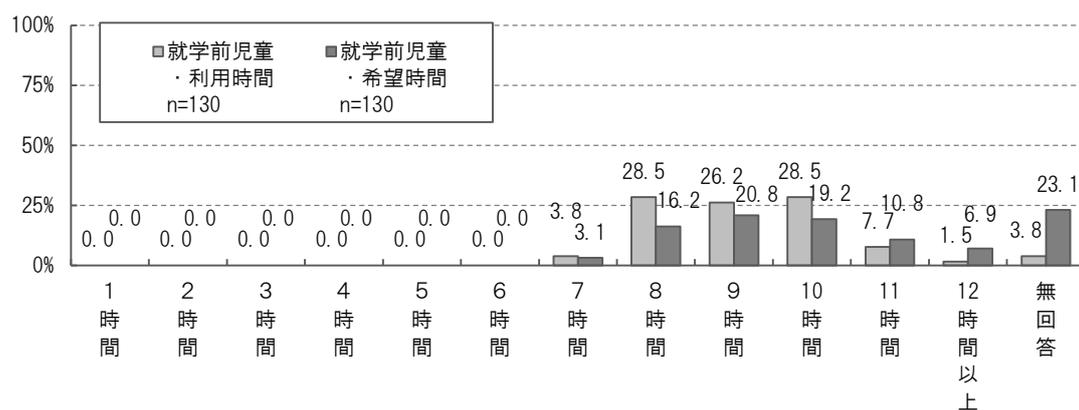


- 認可保育所の利用日数と希望日数をみると、利用・希望ともに「6日」(86.2%・69.2%)の割合が最も高く、次いで「5日」(11.5%・7.7%)となっています。
- 利用時間と希望時間では、利用は「8時間」～「10時間」(28.5%～26.2%)、希望は「8時間」～「11時間」(20.8%～10.8%)の割合が高くなっています。

問15-2(1)(2) 認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）

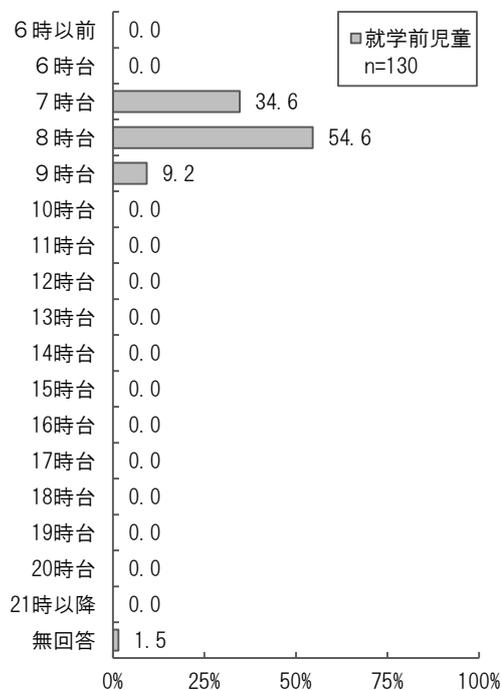


問15-2(1)(2) 認可保育所の利用時間と希望時間（1日当たり）

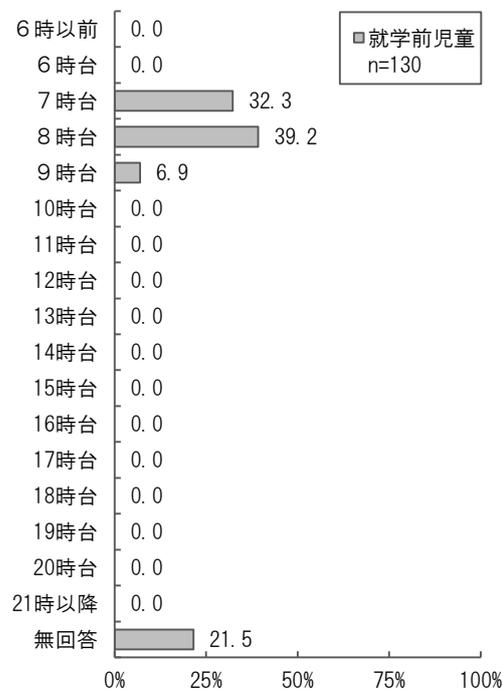


- 利用開始時間・希望開始時間ともに、「7時台」「8時台」で割合が高くなっています。
- 利用終了時間・希望終了時間ともに、「17時台」「18時台」で割合が高くなっています。

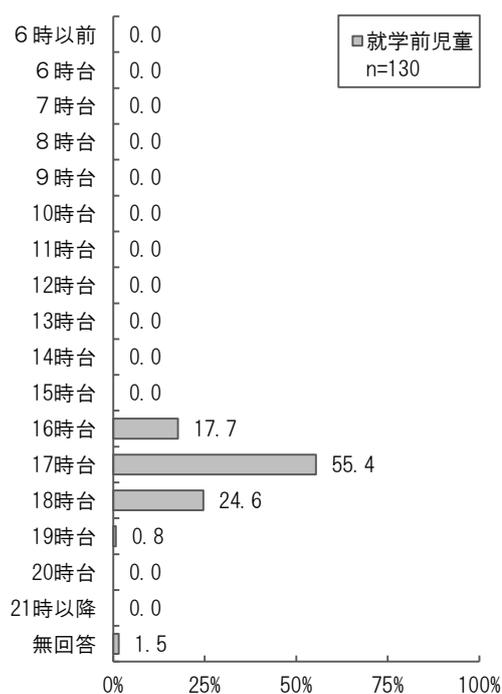
問15-2(1) 利用開始時間



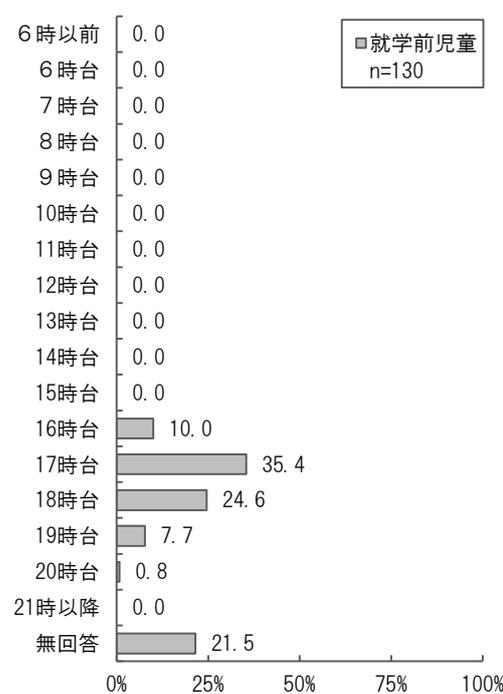
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



問15-2(2) 希望終了時間

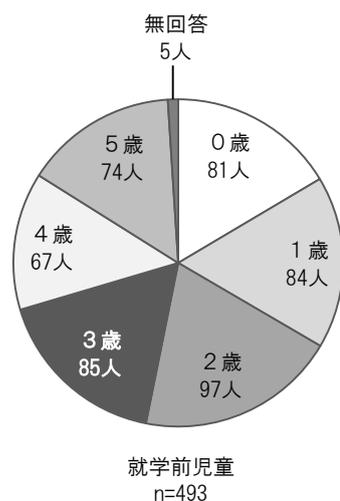


### ③ 認定こども園利用者の状況

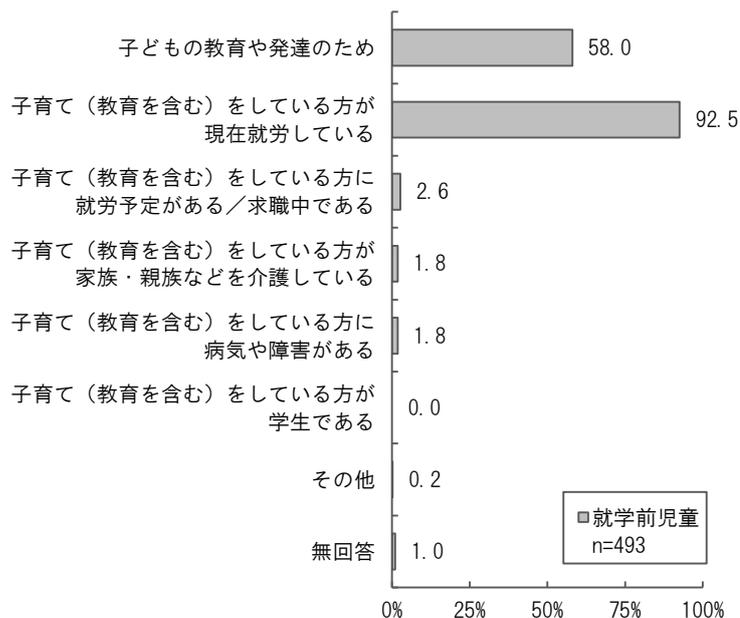
○認定こども園を利用していると回答した493人の年齢の内訳は以下のとおりです。

○認定こども園を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（92.5%）、「子どもの教育や発達のため」（58.0%）をあげた割合が高くなっています。

問15-1 認定こども園の年齢別利用者数

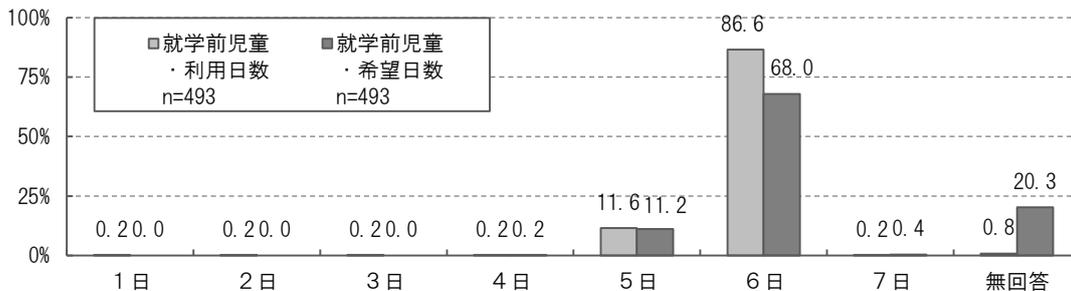


問15-4 認定こども園を利用している理由

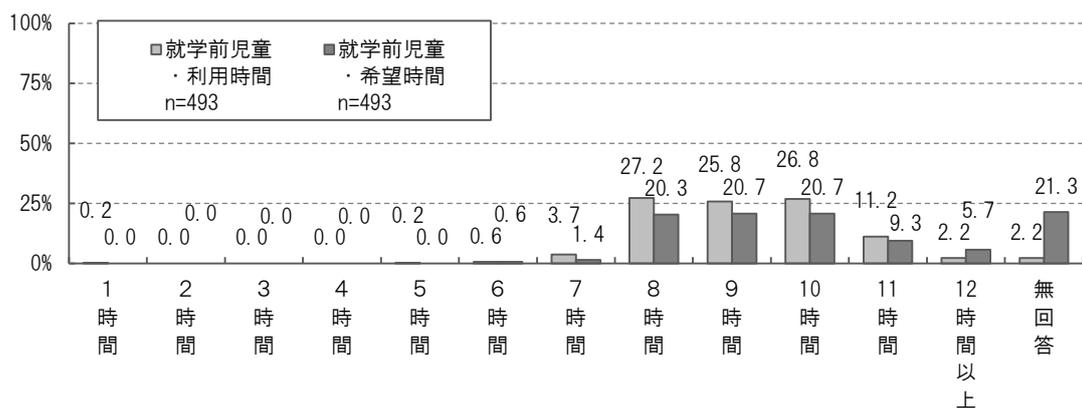


○認定こども園の利用日数と希望日数をみると、利用・希望ともに「6日」（86.6%・68.0%）の割合が最も高く、次いで「5日」（11.6%・11.2%）となっています。  
 ○利用時間と希望時間では、ともに「8時間」～「10時間」が2割台となっており、利用と希望で大きな乖離はない状況です。

問15-2(1)(2) 認定こども園の利用日数と希望日数（1週当たり）

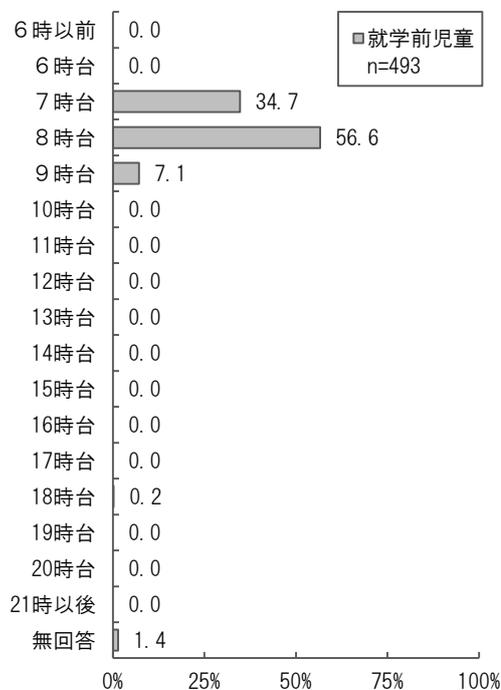


問15-2(1)(2) 認定こども園の利用時間と希望時間（1日当たり）

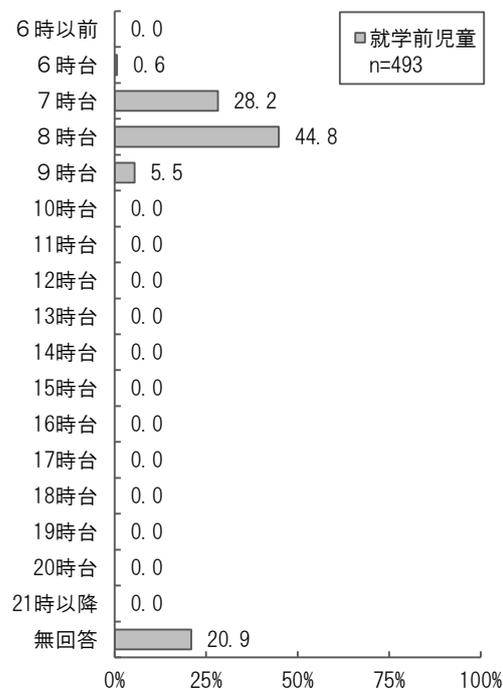


- 利用開始時間・希望開始時間ともに、「7時台」「8時台」で割合が高くなっています。
- 利用終了時間・希望終了時間ともに、「16時台」～「18時台」で割合が高くなっています。

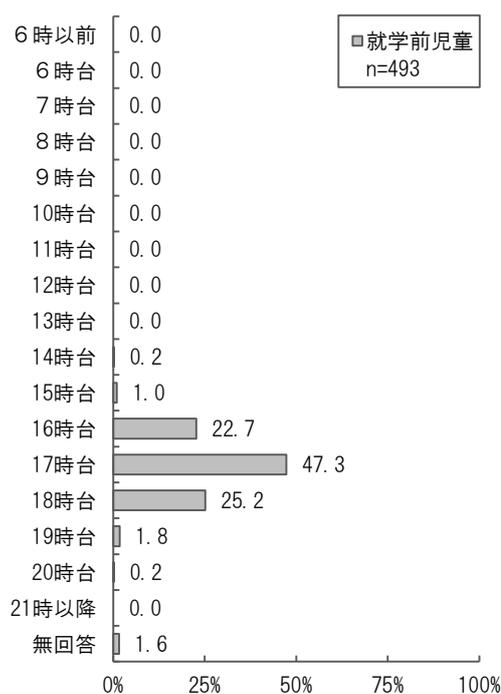
問15-2(1) 利用開始時間



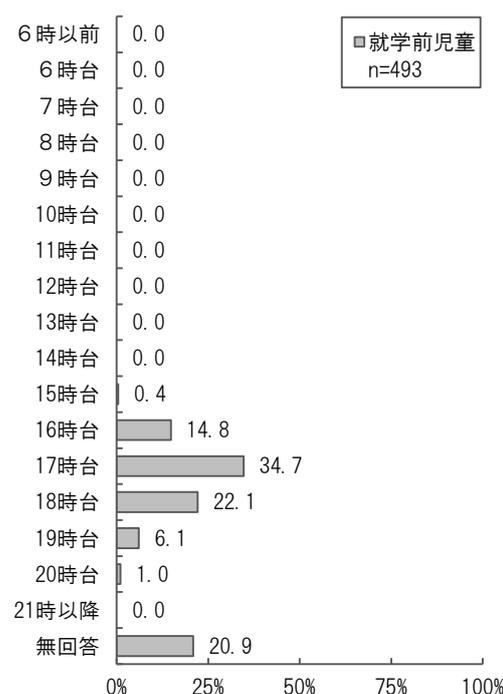
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



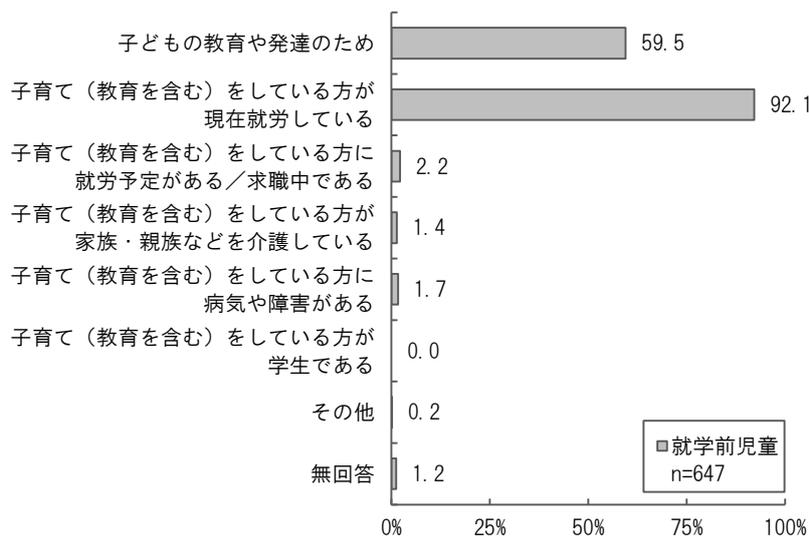
問15-2(2) 希望終了時間



## (2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（92.1%）と回答した割合が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（59.5%）となっています。

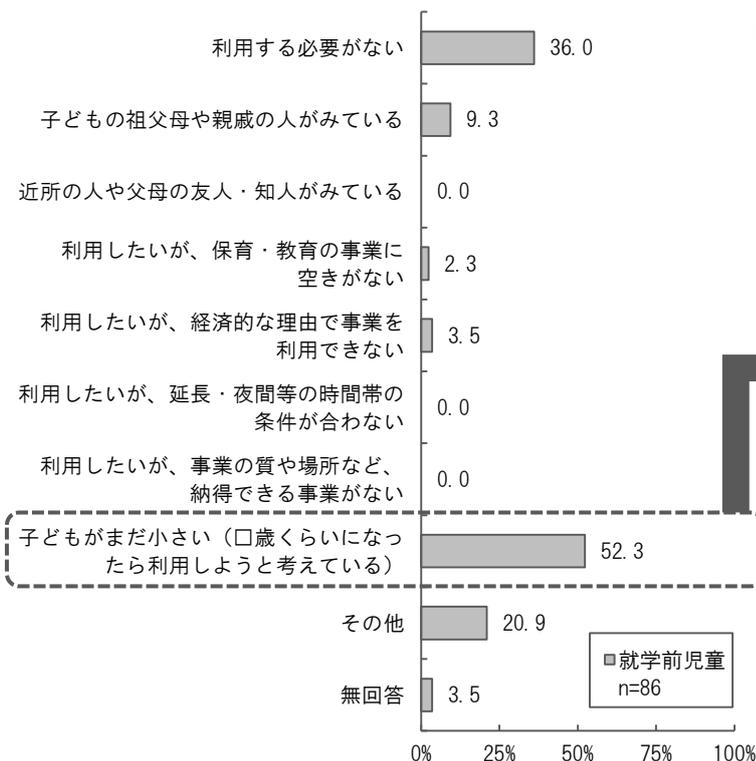
問15-4 平日に教育・保育事業を利用している理由



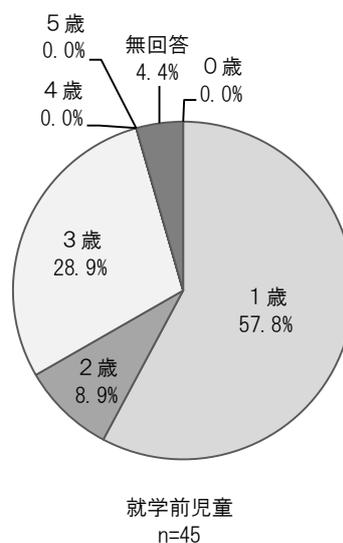
○利用していない理由は、「子どもがまだ小さい（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」（52.3%）、「利用する必要がない」（36.0%）の割合が高くなっています。

○「子どもがまだ小さい（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、「1歳」（57.8%）の割合が最も高く、次いで「3歳」（28.9%）となっています。

問15-5 教育・保育事業を利用していない理由



問15-5.8 利用を希望する子どもの年齢



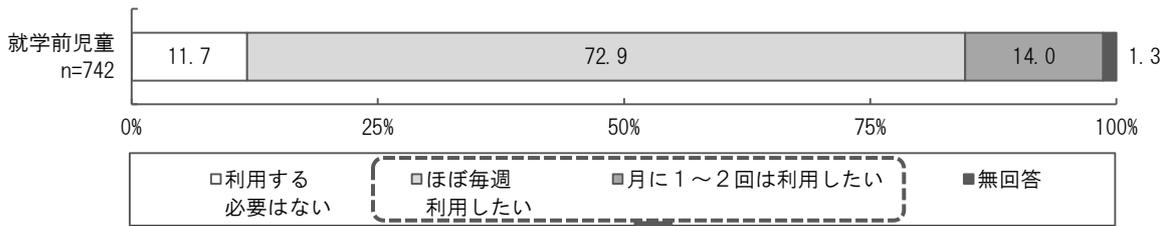
## 2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

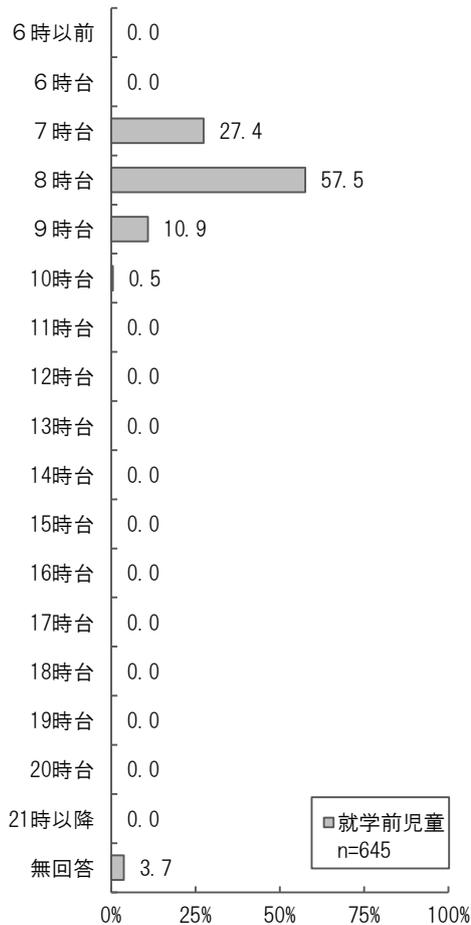
○土曜日の教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」が72.9%、「月に1～2回は利用したい」が14.0%となっています。

○土曜日の利用希望者は、事業の開始時間を8割以上が「7時台」「8時台」、終了時間は約9割が「16時台」～「18時台」を希望しています。

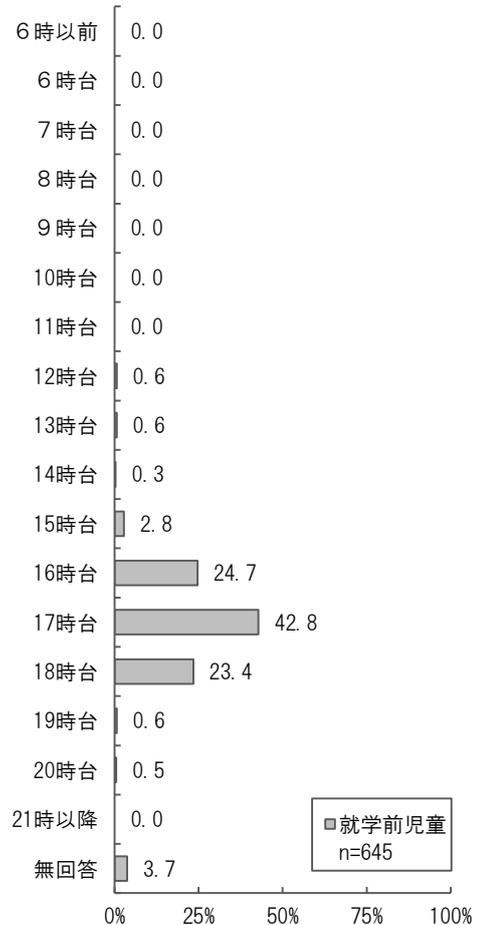
問20(1) 土曜日の利用希望



問20(1) 希望開始時間



問20(1) 希望終了時間



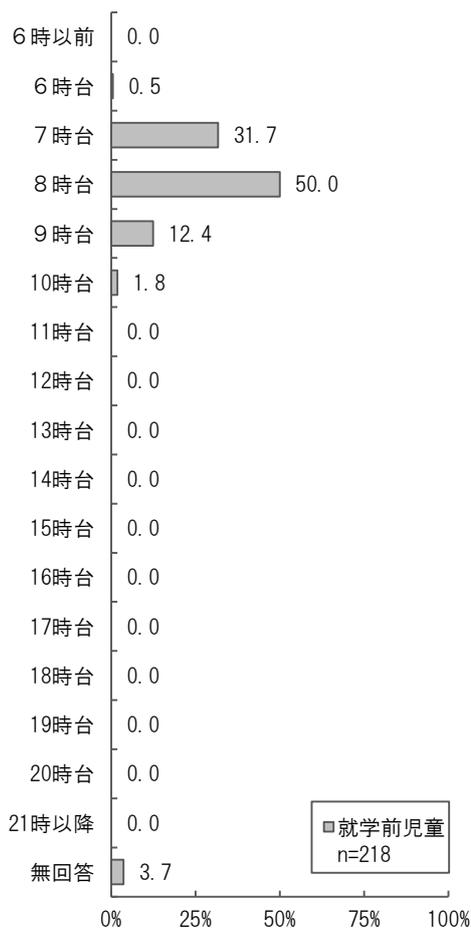
○日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が7割弱を占めるものの、「月に1～2回は利用したい」と2割以上の方が希望しています。また、「ほぼ毎週利用したい」と定期的な利用を希望している方は3.0%に留まっています。

○日曜・祝日の利用希望者は、事業の開始時間を9割以上が「7時台」～「9時台」、終了時間は8割以上が「16時台」～「18時台」を希望しています。

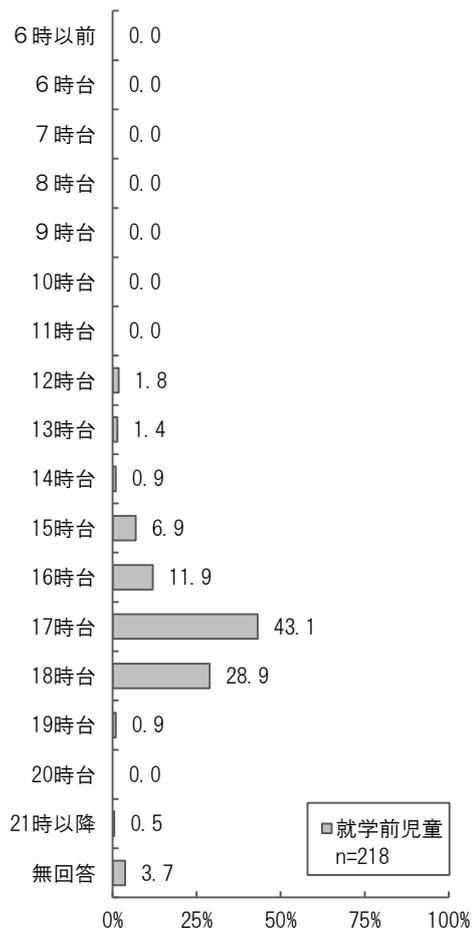
問20(2) 日曜・祝日の利用希望



問20(2) 希望開始時間

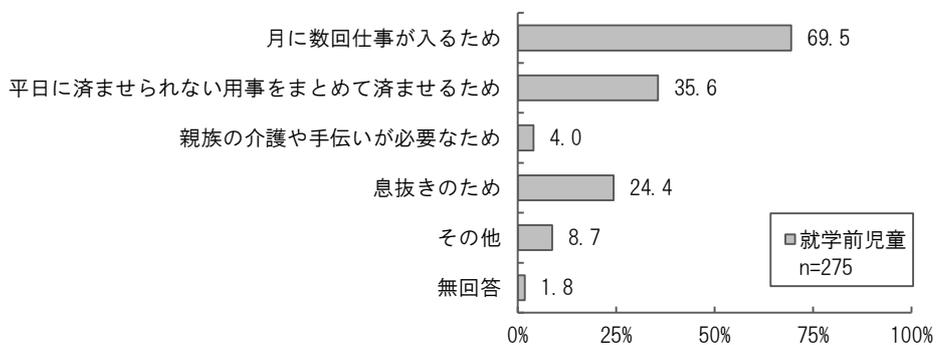


問20(2) 希望終了時間



○毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が69.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.6%、「息抜きのため」が24.4%となっています。

問20-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由

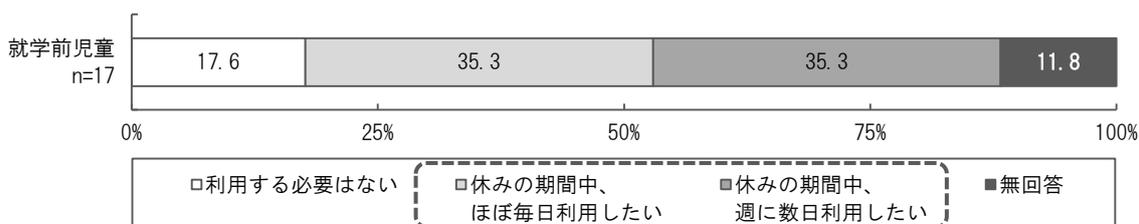


## (2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

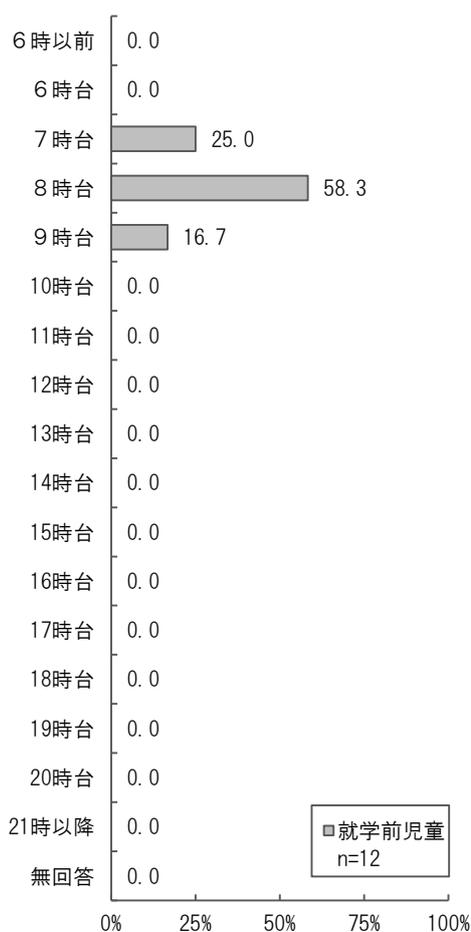
○長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」が各35.3%となっています。

○長期休暇中の利用希望者は、事業の開始時間を6割弱が「8時台」、終了時間は3割強が「16時台」を希望しています。

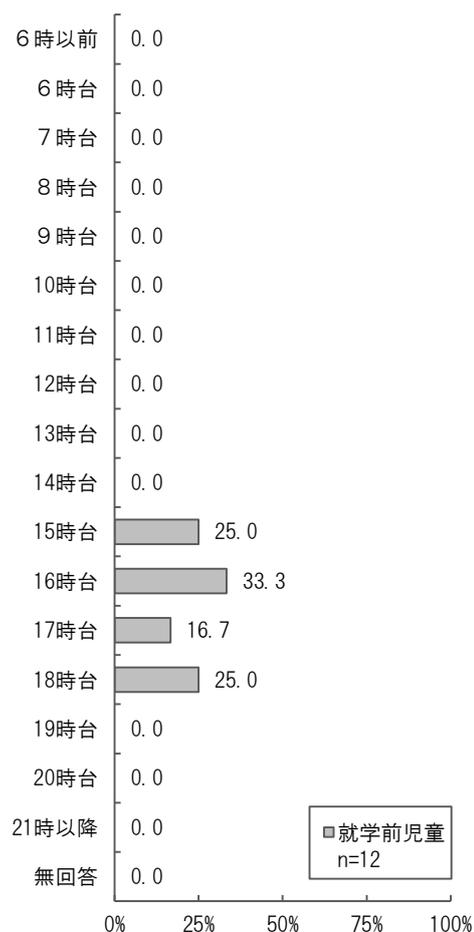
問21 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



問21 希望開始時間

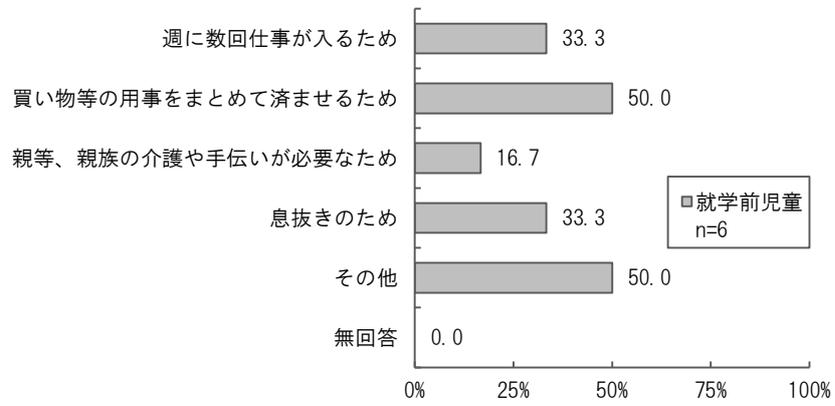


問21 希望終了時間



○長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」理由は以下のとおりです。

問21-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由

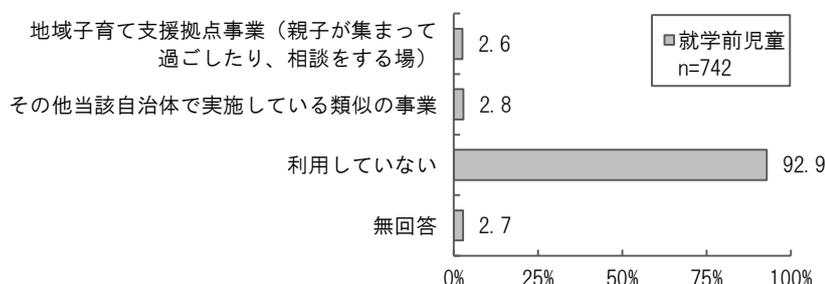


### 3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望

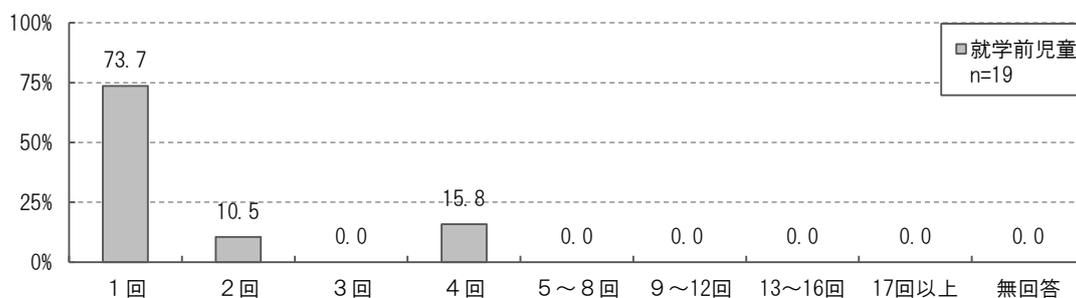
#### (1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

- 地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」「その他当該自治体で実施している類似の事業」はそれぞれ1割未満となっています。
- 「地域子育て支援拠点事業」利用者の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が73.7%、「4回」が15.8%となっています。
- 「その他類似の事業」利用者の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が90.5%、「2回」が9.5%となっています。

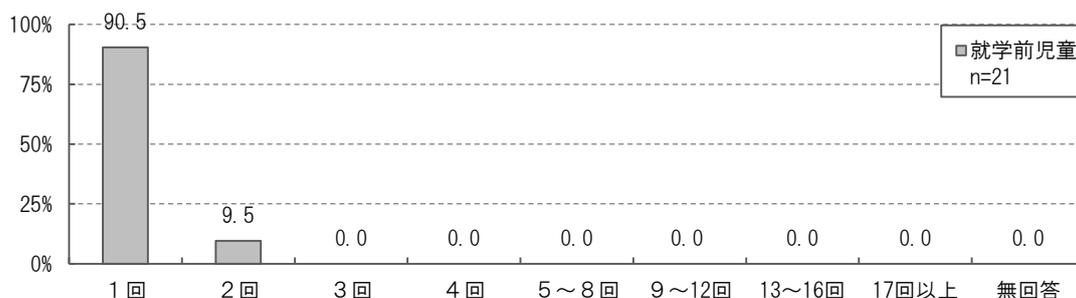
問17 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1ヶ月当たり）



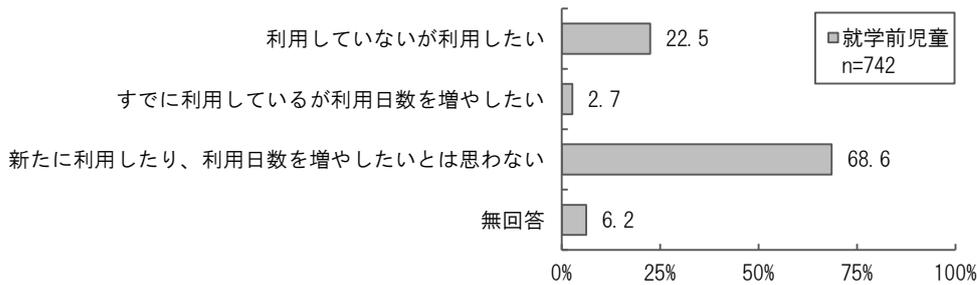
問17.2 その他類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）



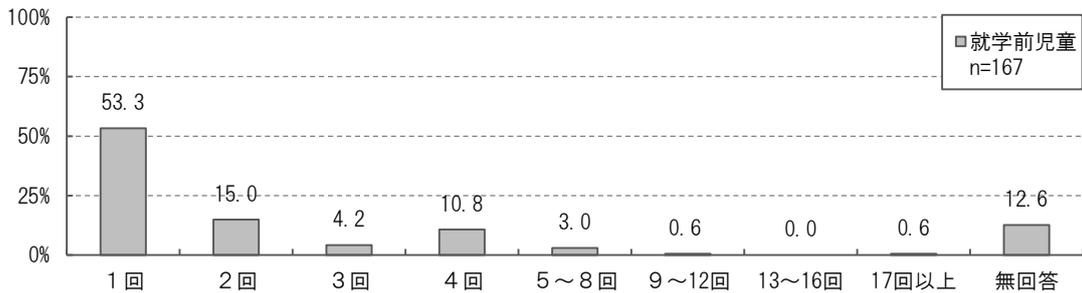
## (2) 今後の利用意向

○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「利用していないが利用したい」は22.5%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」は2.7%となっています。  
 ○未利用者の今後の利用希望回数は、1ヶ月当たり「1回」が53.3%、「2回」が15.0%となっています。また、既利用者が今後増やしたい1ヶ月当たりの利用回数は、「2回」が35.0%と最も高くなっています。

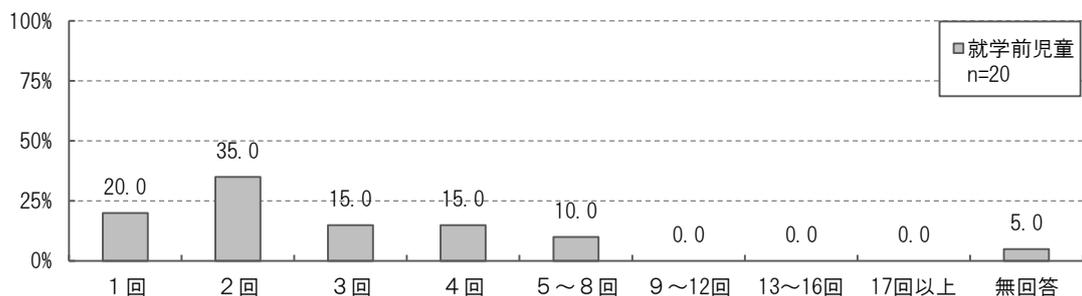
問18 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問18.1 未利用者の今後の利用希望回数（1ヶ月当たり）



問18.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり）



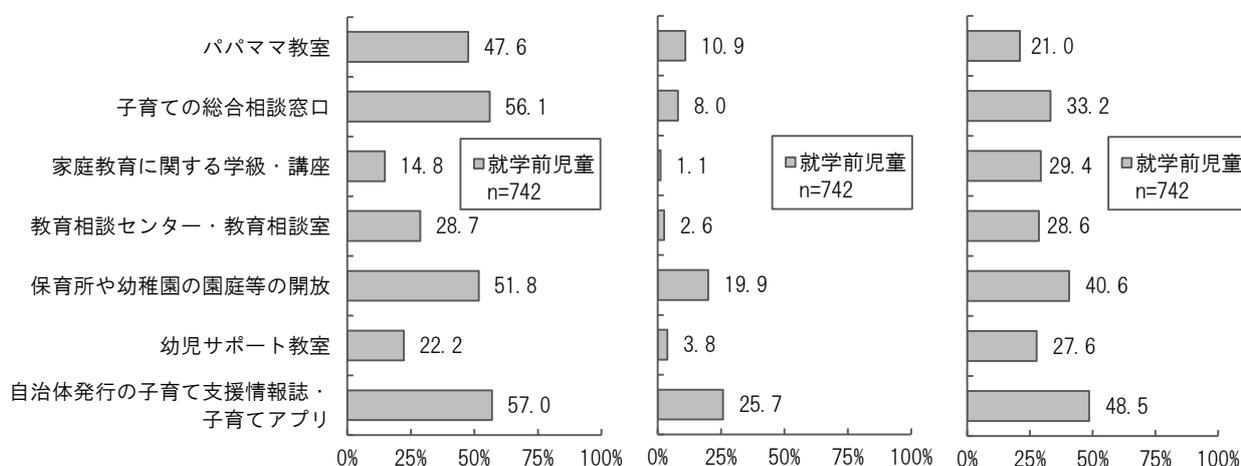
### (3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の周知度をみると、「自治体発行の子育て支援情報誌・子育てアプリ」(57.0%)、「子育ての総合相談窓口」(56.1%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(51.8%)が半数以上を占めています。

○周知度が高くても利用が少ない事業は、「パパママ教室」(10.9%)、「子育ての総合相談窓口」(8.0%)があげられます。

○いずれの事業も今後の利用希望は、2～4割台となっています。なかでも、「自治体発行の子育て支援情報誌・子育てアプリ」(48.5%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(40.6%)の利用意向は高くなっています。

問19 A. 子育て支援事業の周知度 B. 利用したことがある C. 今後利用したい



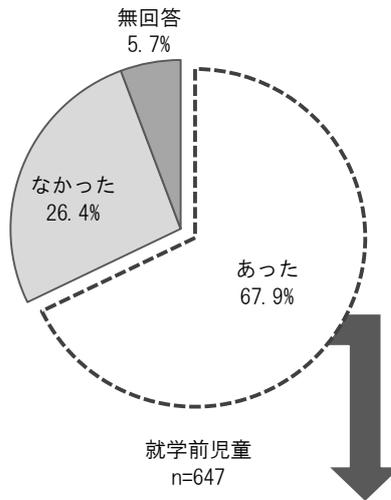
## 4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

### (1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について

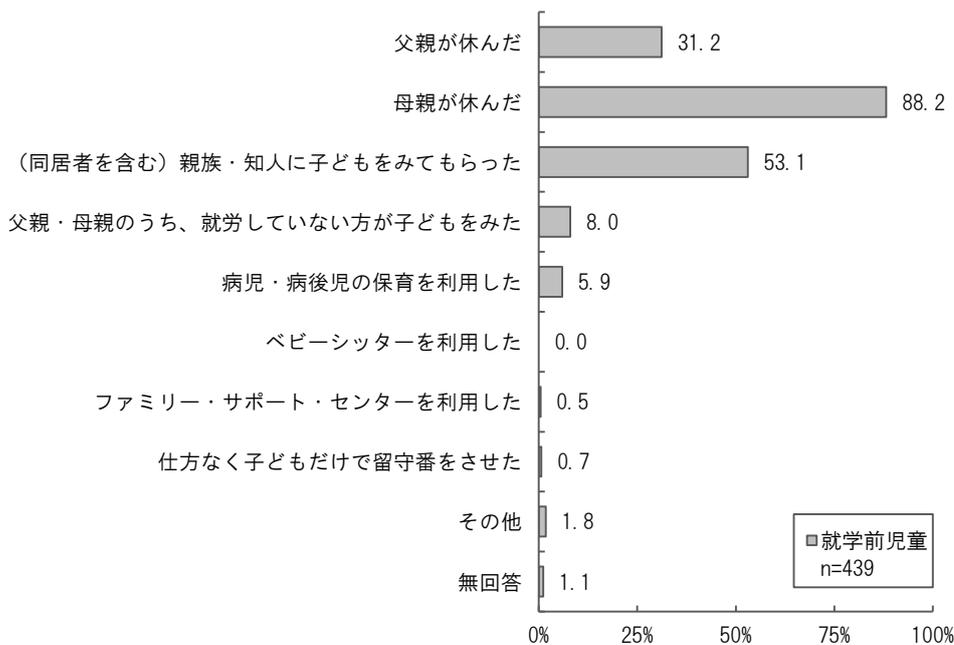
○病気やケガで保育所や幼稚園が利用できなかったことが、「あった」方は67.9%となっています。

○その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」が88.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(53.1%)、「父親が休んだ」(31.2%)となっています。

問22 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無



問22-1 この1年間の対処方法

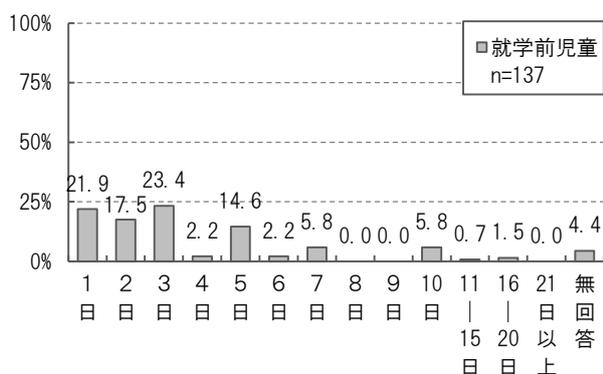


○この1年間の対処方法別の日数をみると、『父親が休んだ日数』は「3日」(23.4%)、「1日」(21.9%)、『母親が休んだ日数』は「5日」(18.6%)、「10日」(14.7%)の順となっています。

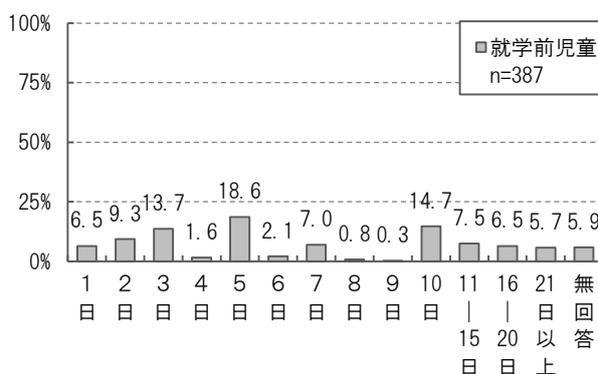
○『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数』は「3日」「5日」(各18.5%)、「10日」(16.3%)、『父親・母親のうち就労していない方が子どもをみた日数』は「5日」(17.1%)、「2日」「3日」「10日」(各14.3%)の順となっています。

○『病児・病後児の保育を利用した日数』は「2日」「3日」(各23.1%)、「1日」「5日」(各19.2%)の順となっています。

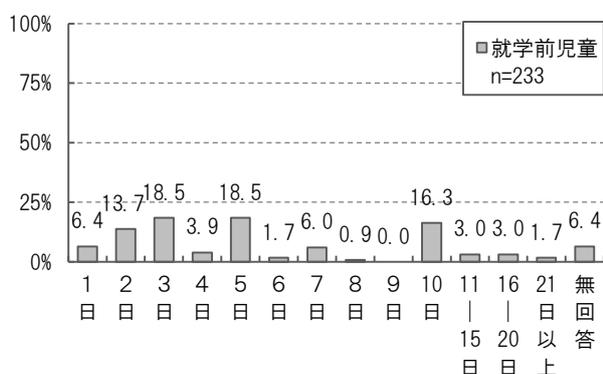
問22-1.1 父親が休んだ日数



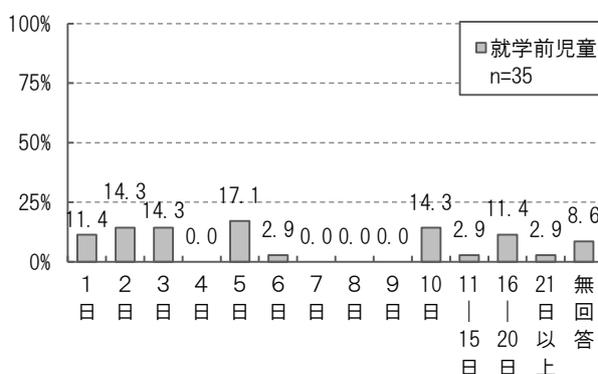
問22-1.2 母親が休んだ日数



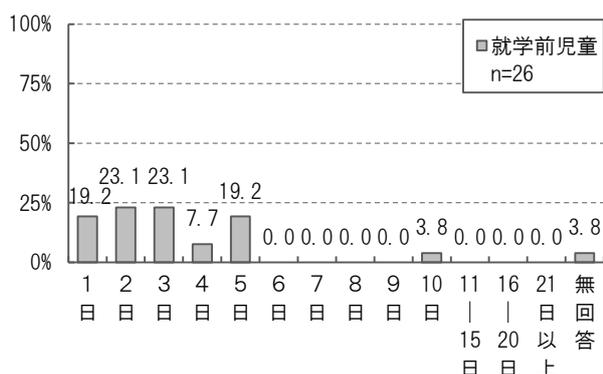
問22-1.3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数



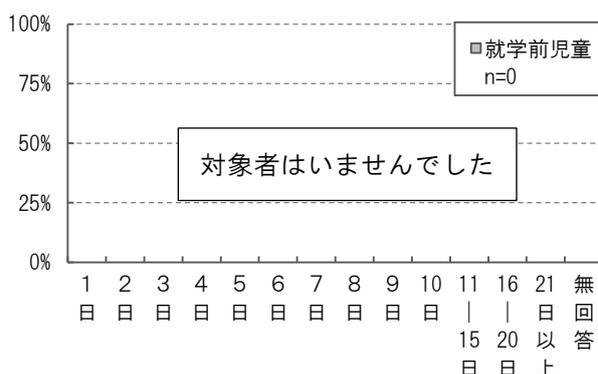
問22-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数



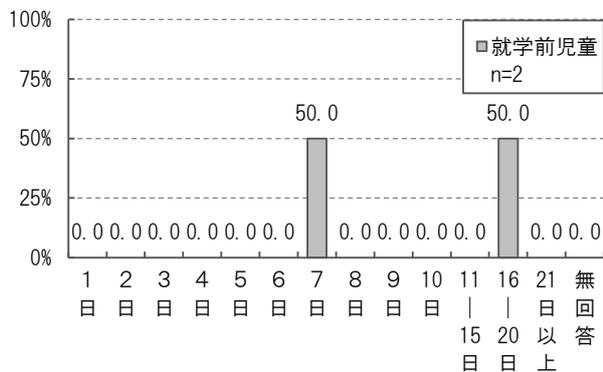
問22-1.5 病児・病後児の保育を利用した日数



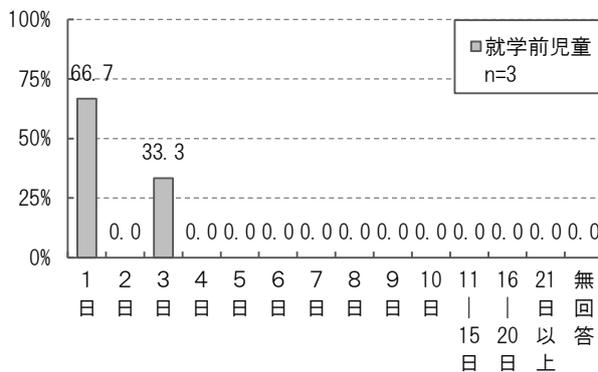
問22-1.6 ベビーシッターを利用した日数



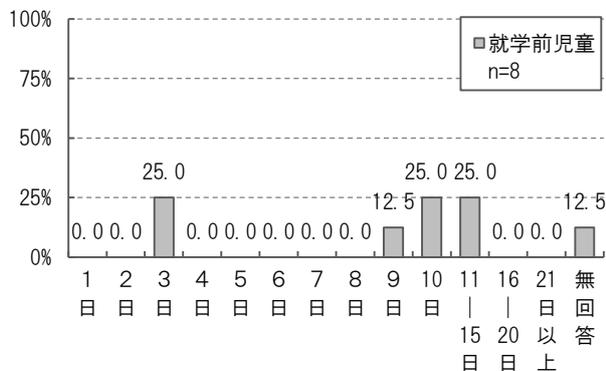
問22-1.7 ファミリー・サポート・センターを利用した日数



問22-1.8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

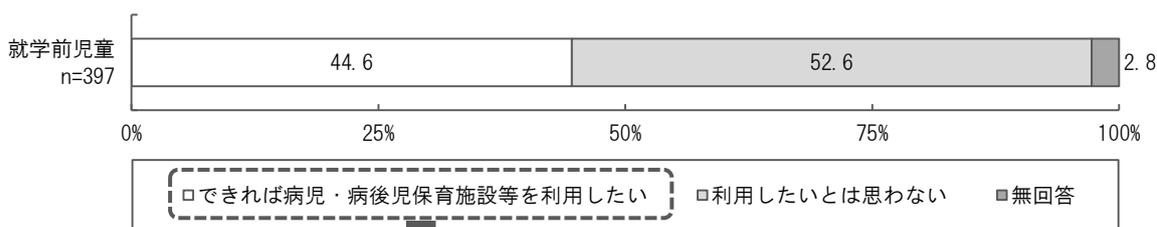


問22-1.9 その他

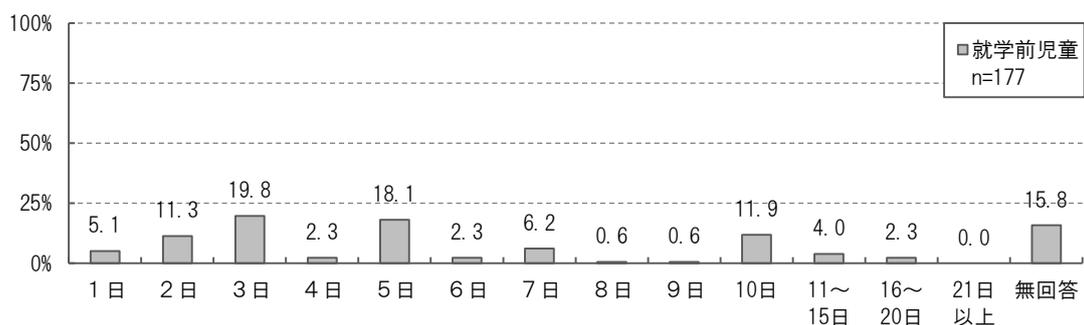


- 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が44.6%となっています。
- その際の年間利用希望日数は、「3日」(19.8%)、「5日」(18.1%)の順となっています。
- 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態として、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(72.3%)、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(70.6%)をあげた割合が高くなっています。

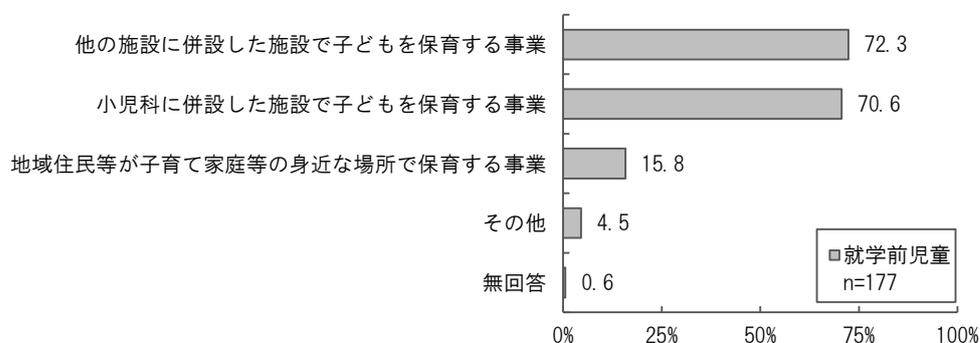
問22-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

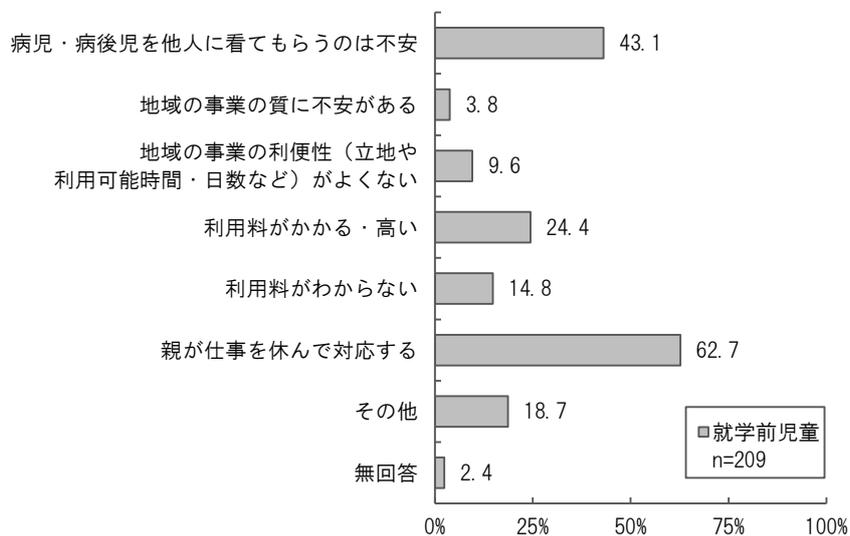


問22-3 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態



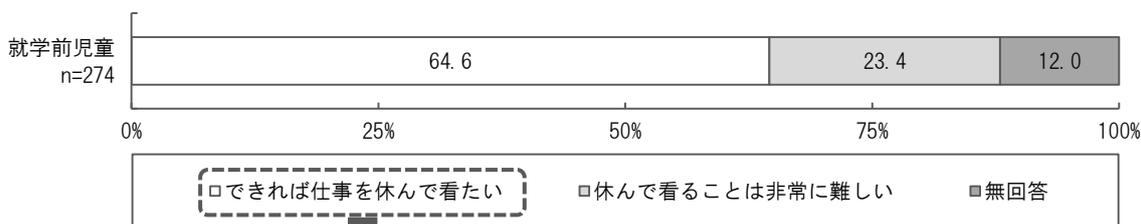
○病児・病後児保育施設等の利用を希望しない理由として、「親が仕事を休んで対応する」(62.7%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(43.1%)をあげた割合が高くなっています。

問22-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

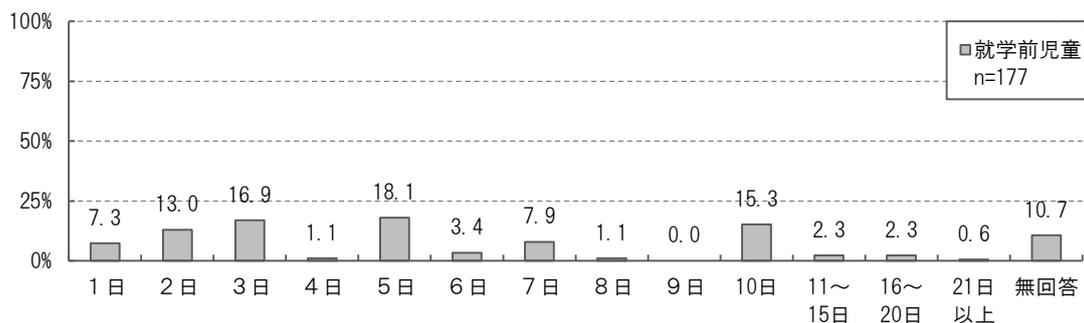


- 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」が64.6%となっています。
- 「できれば仕事を休んで看たい」年間希望日数は、「5日」が18.1%と最も高くなっています。
- 「休んで看ることは非常に難しい」理由としては、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(31.3%)、「休暇日数が足りないので休めない」(28.1%)をあげた割合が高くなっています。また、「その他」も43.8%と高いことから、複数の理由により休めない状況にあることがうかがえます。

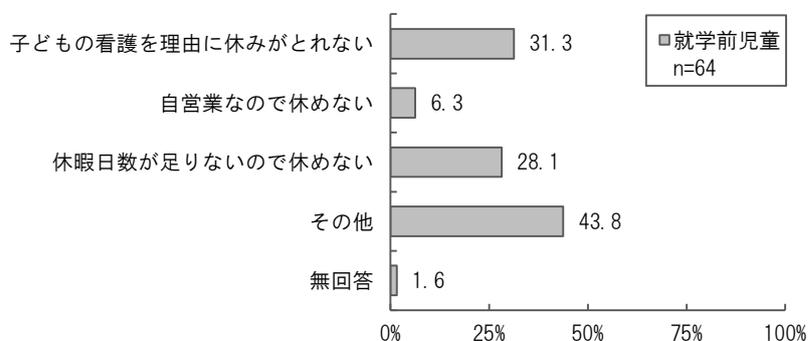
問22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が仕事を休んで看たい」意向



問22-5.1 「できれば仕事を休んで看たい」希望日数



問22-6 「休んで看ることは非常に難しい」理由

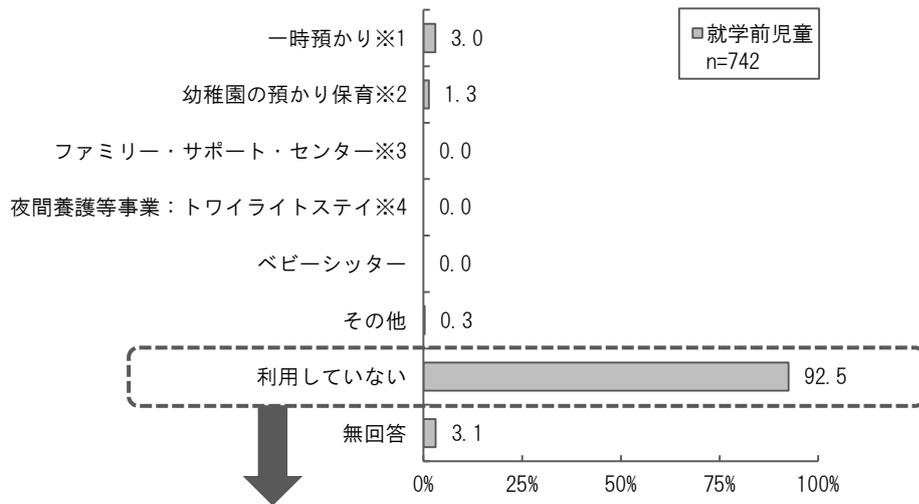


## 5 不定期の一時保育の利用について

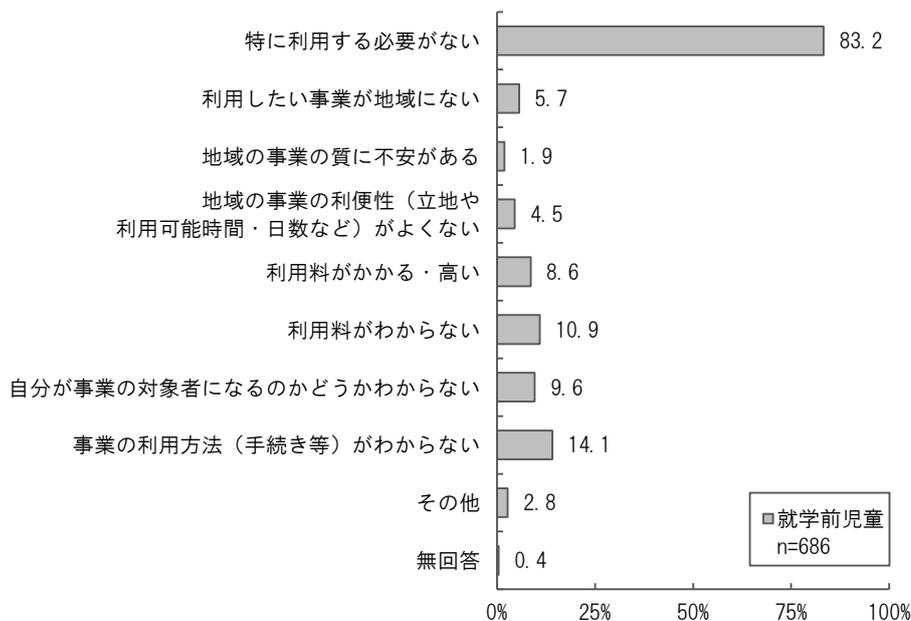
### (1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「一時預かり」(3.0%)、「幼稚園の預かり保育」(1.3%)をはじめ、あまり利用がない状況です。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が8割以上を占めています。また、それ以外の理由としては、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.1%)、「利用料がわからない」(10.9%)をあげています。

問23 不定期に利用している教育・保育事業



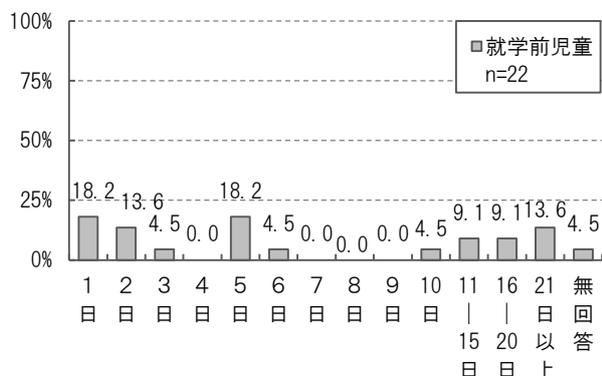
問23-1 現在利用していない理由



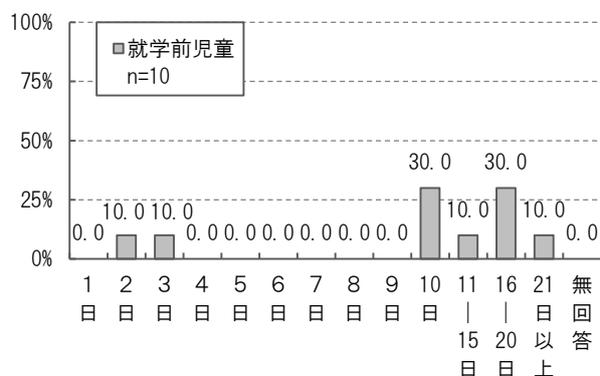
- ※1 一時預かり:私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- ※2 幼稚園の預かり保育:通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
- ※3 ファミリー・サポート・センター:地域住民が子どもを預かる事業
- ※4 夜間養護等事業(トワイライトステイ):児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

○事業別の年間利用日数は、以下のとおりです。

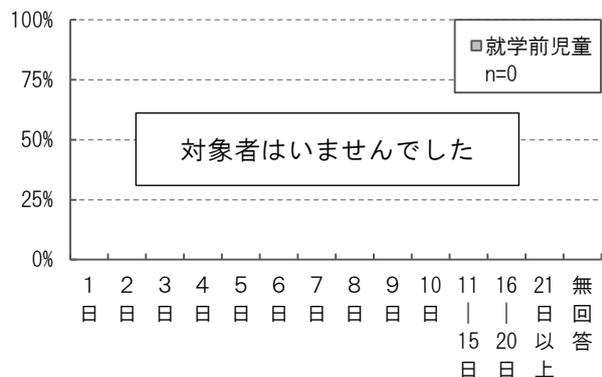
問23.1 「一時預かり」年間利用日数



問23.2 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数



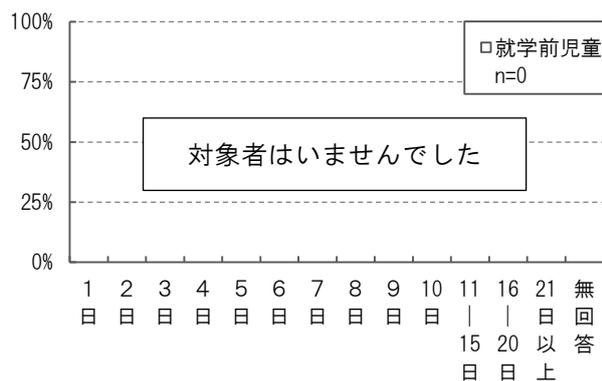
問23.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



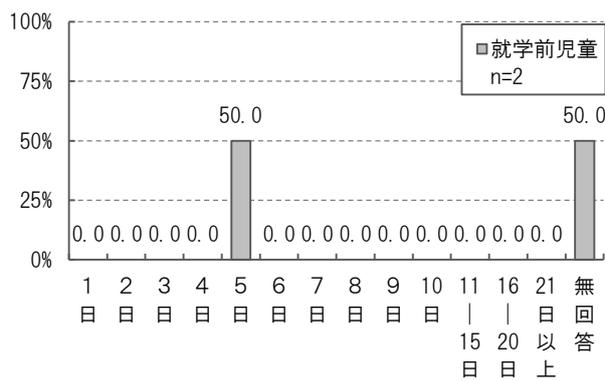
問23.4 「夜間養護等事業」年間利用日数



問23.5 「ベビーシッター」年間利用日数



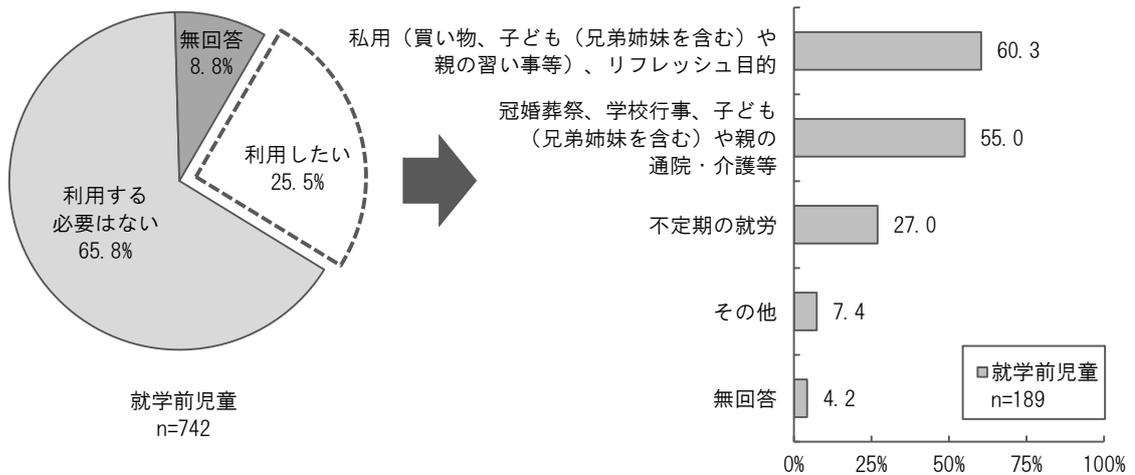
問23.6 「その他」年間利用日数



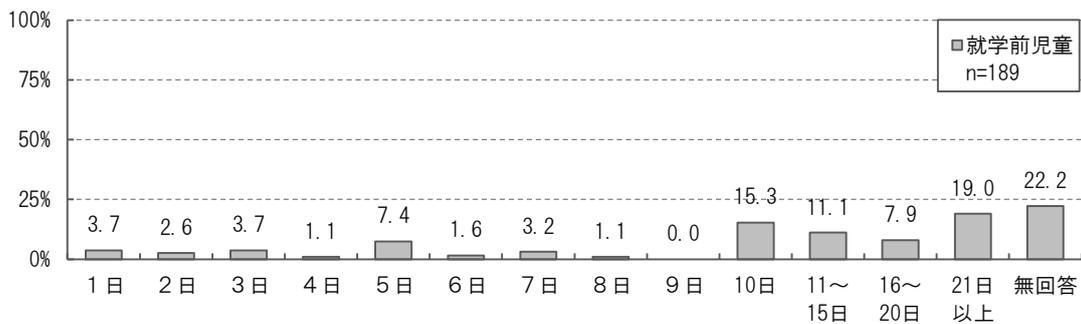
○一時保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が65.8%、「利用したい」が25.5%となっています。「利用したい」目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（60.3%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院・介護等」（55.0%）、「不定期の就労」（27.0%）の順となっています。

○年間の利用希望日数の合計は、「21日以上」が19.0%と最も高くなっています。

問24 一時保育事業の利用希望とその目的



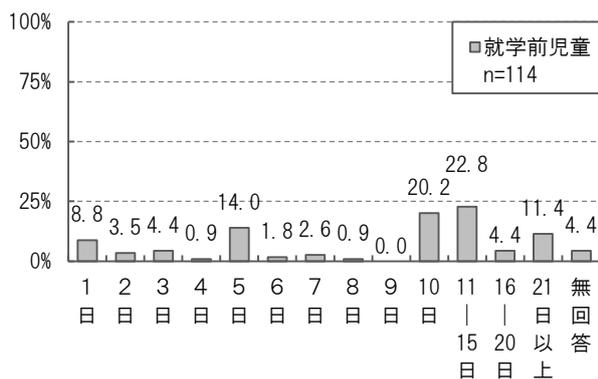
問24.1 一時保育事業の利用希望年間合計日数



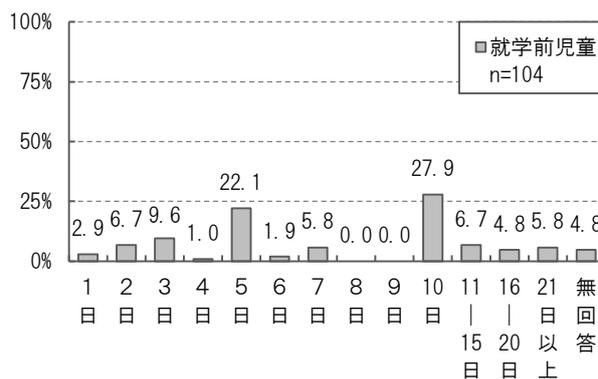
○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「11－15日」(22.8%)、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院・介護等』では「10日」(27.9%)、『不定期の就労』では「10日」(29.4%)の割合が高くなっています。

○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、幼稚園・保育所等のような「大規模施設で子どもを預かる事業」が77.2%と最も高くなっています。

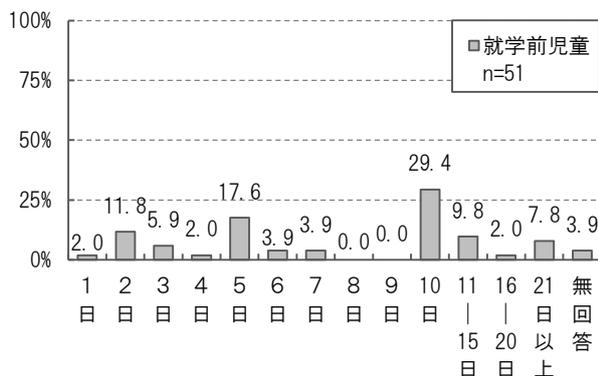
問24.1① 私用、リフレッシュ目的



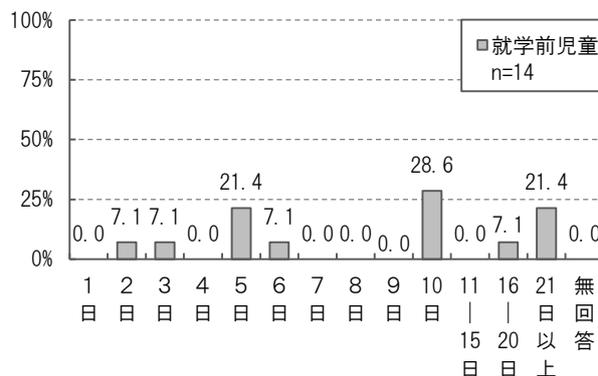
問24.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院・介護等



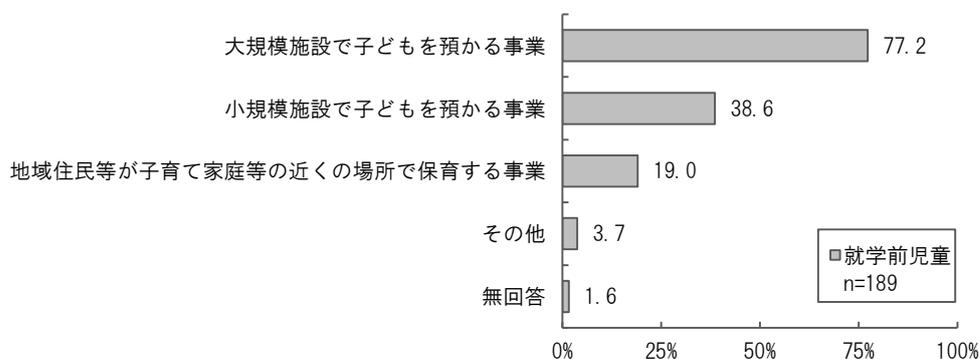
問24.1③ 不定期の就労



問24.1④ その他



問24-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

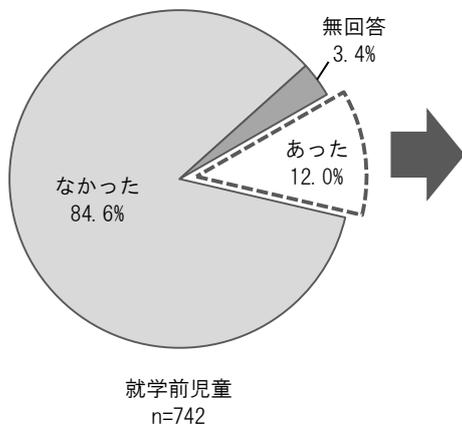


## (2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

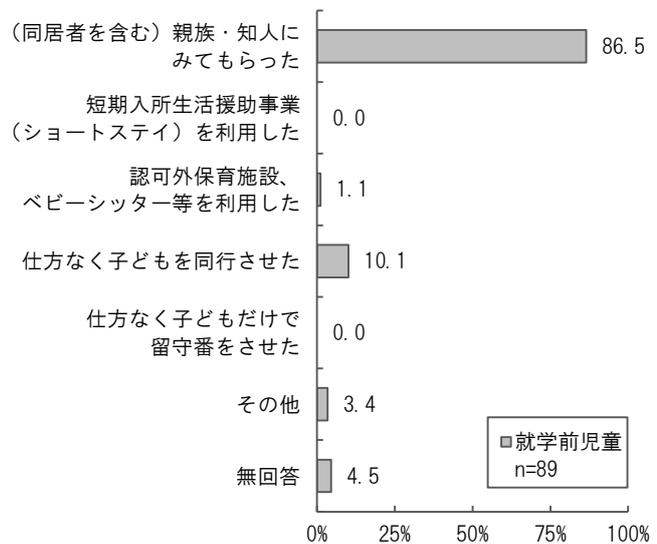
○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことが、「あった」方は12.0%となっています。そのうち8割以上の方は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答していますが、「仕方なく子どもを同行させた」方も10.1%となっています。

○親族・知人にみてもらう場合、5割強の方が困難(「非常に困難」+「どちらかという困難」)であると感じている状況です。

問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

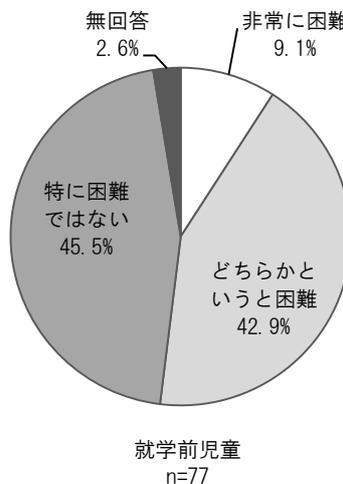


問25.1 1年間の対処方法



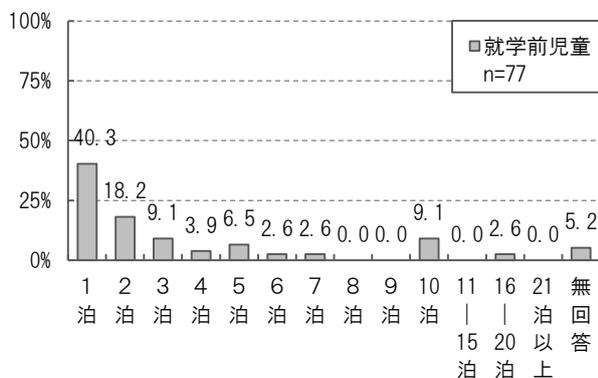
※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問25-1 親族・知人にみてもらう場合の困難度

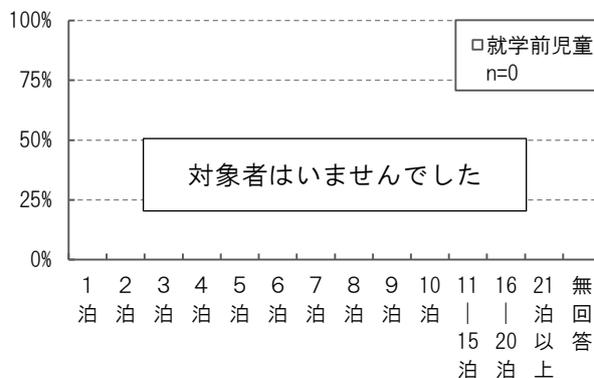


○対処方法別の年間宿泊数は以下のとおりとなり、『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』では「1泊」(40.3%)、「2泊」(18.2%)で割合が高くなっています。

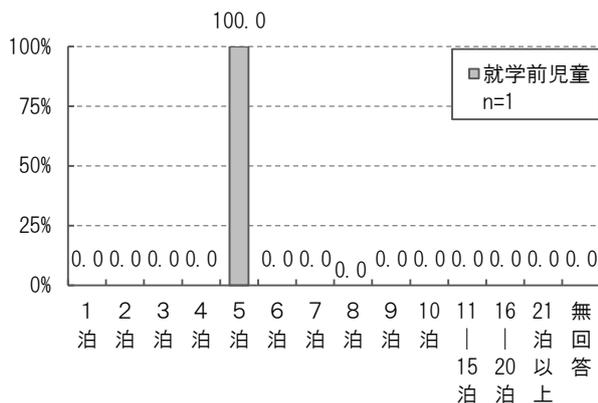
問25.1① (同居者を含む)親族・知人にみてもらった



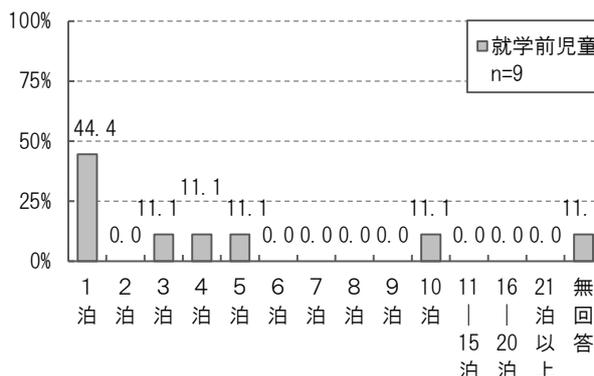
問25.1② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した



問25.1③ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した



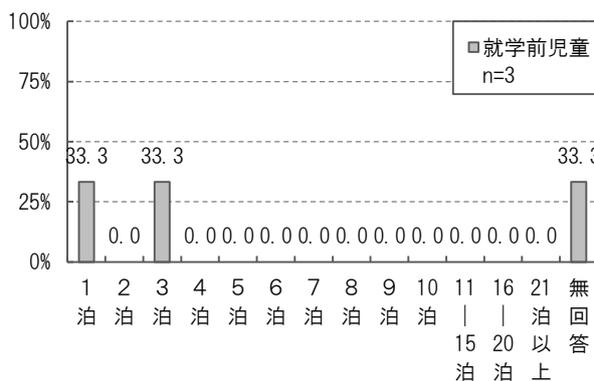
問25.1④ 仕方なく子どもを同行させた



問25.1⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



問25.1⑥ その他

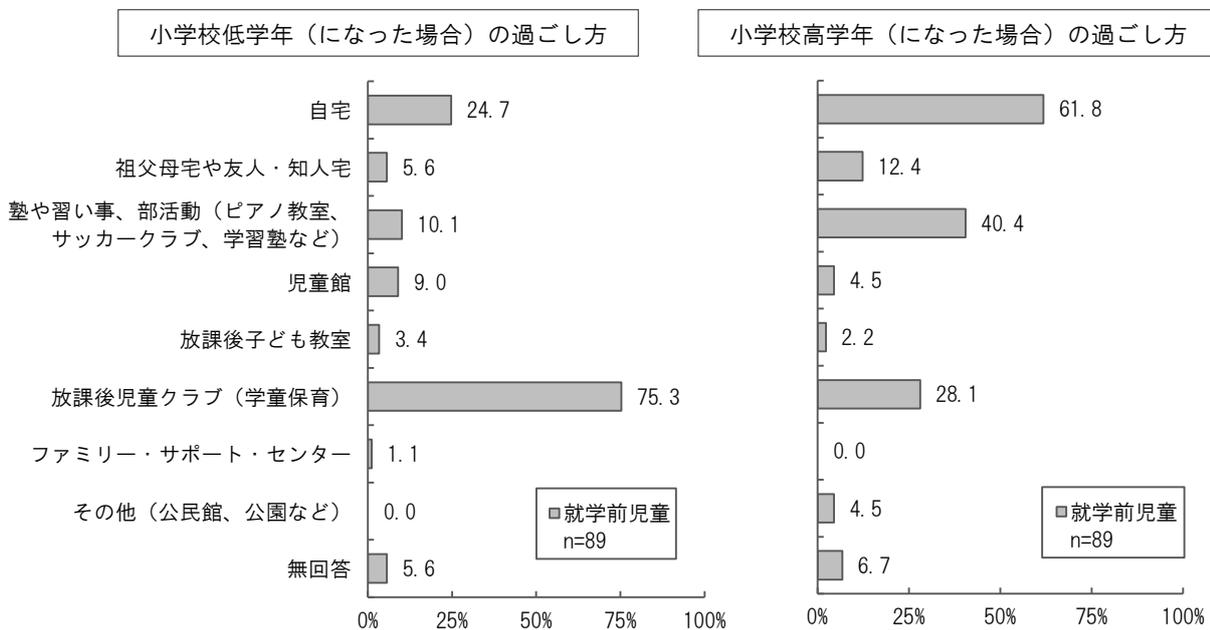


## 6 放課後の過ごし方について

### (1) 平日の放課後の過ごし方について

○放課後の過ごし方の希望をみると、低学年のうちは「放課後児童クラブ（学童保育）」（75.3%）、「自宅」（24.7%）、「塾や習い事、部活動（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（10.1%）の順となっています。高学年になると、「放課後児童クラブ（学童保育）」（28.1%）が47.2<sup>ポイント</sup>減少した一方で、「自宅」（61.8%）が37.1<sup>ポイント</sup>、「塾や習い事、部活動（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（40.4%）が30.3<sup>ポイント</sup>増加しています。

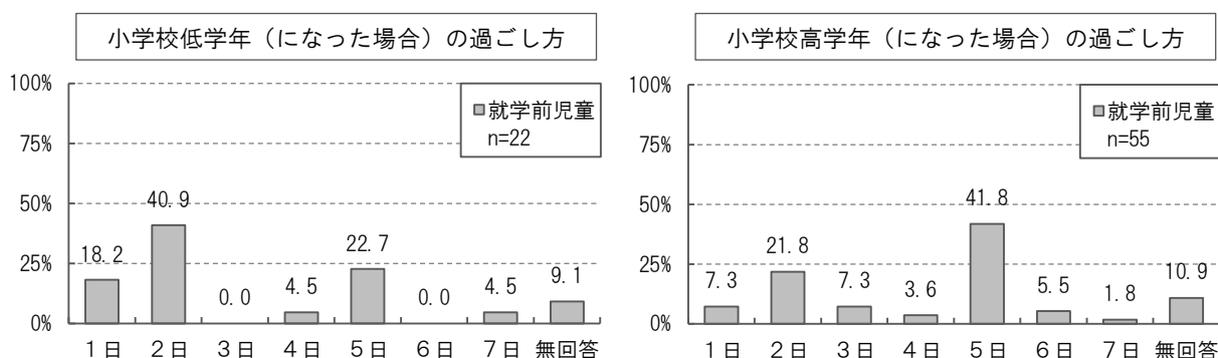
問26・問27 放課後の過ごし方の希望



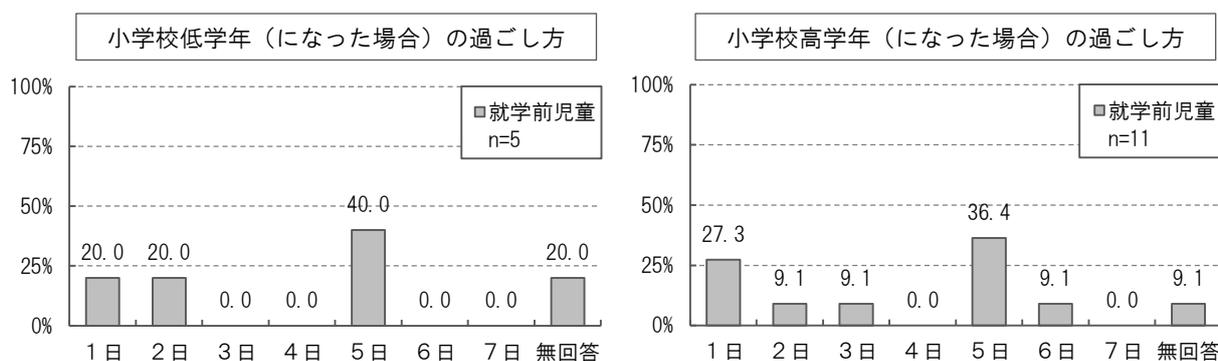
※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。

○放課後を過ごさせたい場所別に週当たりの希望日数をみると、『自宅』では、低学年時期は「2日」(40.9%)、高学年時期は「5日」(41.8%)の割合が最も高くなっています。『祖父母宅や友人・知人宅』では、低学年時期の利用希望は5人で「5日」(40.0%)、高学年時期は「5日」(36.4%)の割合が最も高くなっています。『塾や習い事、部活動』では、低学年時期の利用希望は9人で「2日」(44.4%)、高学年時期は「5日」(30.6%)の割合が最も高くなっています。『児童館』では、低学年時期の利用希望は8人で「5日」(37.5%)、高学年時期は4人で「3日」「5日」「6日」があがっています。『放課後子ども教室』では、低学年時期は利用希望は3人で「3日」「5日」、高学年時期は2人で「3日」があがっています。『放課後児童クラブ(学童保育)』では、「5日」(低学年時期61.2%・高学年時期28.0%)の割合が最も高くなっています。

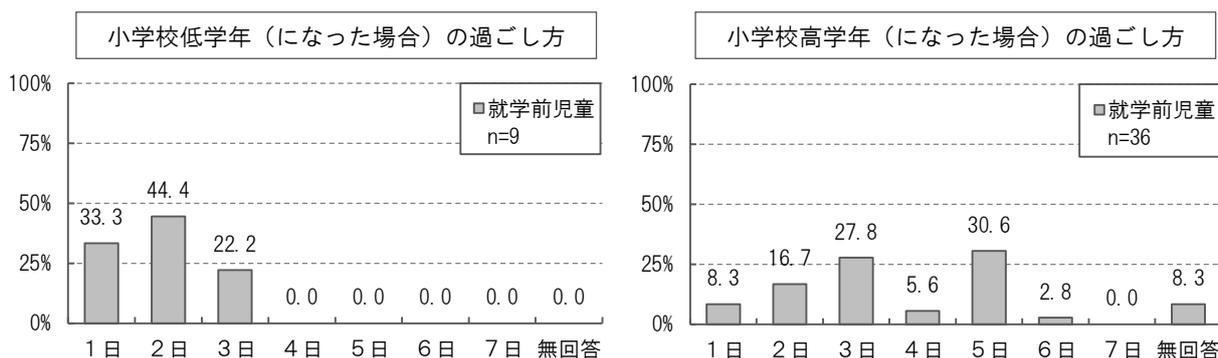
問26.1・問27.1 「自宅」希望日数(1週当たり)



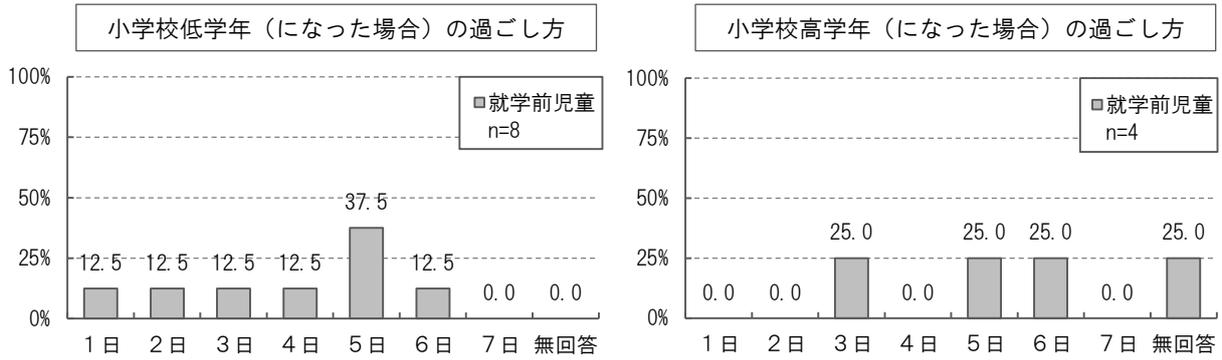
問26.2・問27.2 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数(1週当たり)



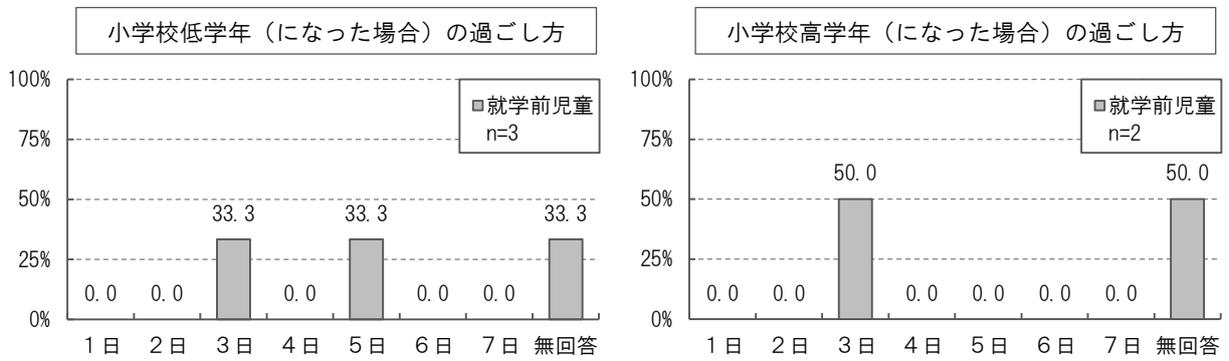
問26.3・問27.3 「塾や習い事、部活動」希望日数(1週当たり)



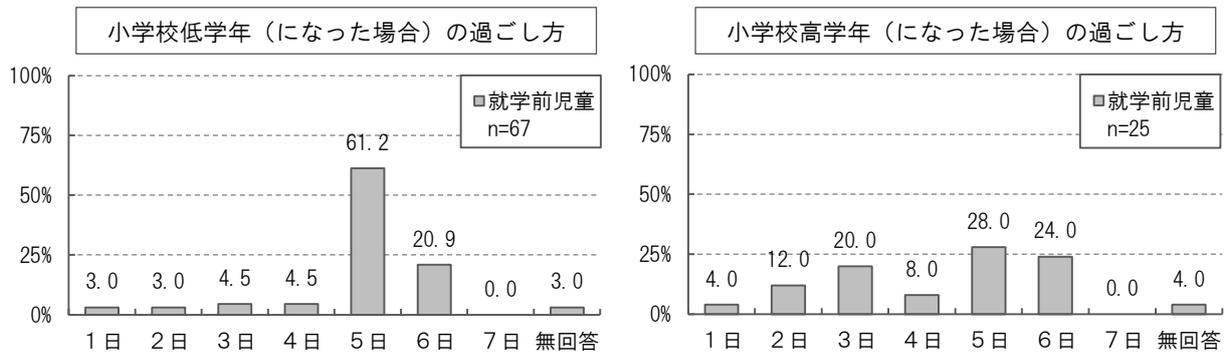
問26.4・問27.4 「児童館」希望日数（1週当たり）



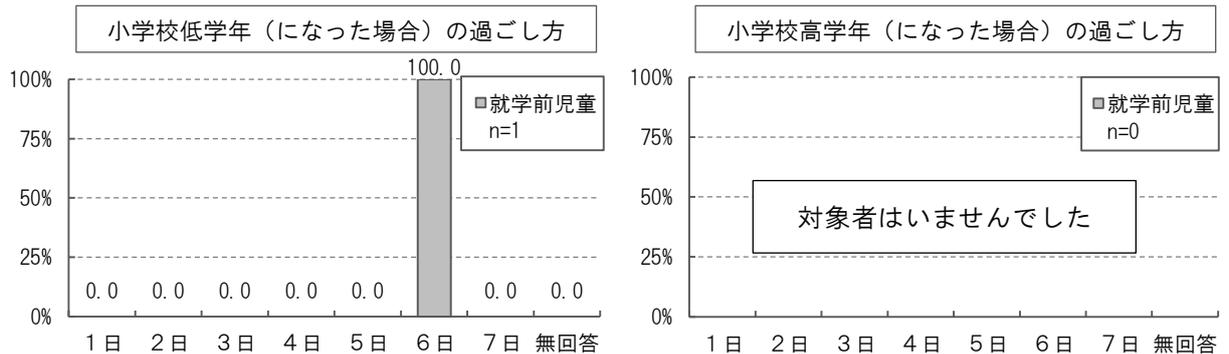
問26.5・問27.5 「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）



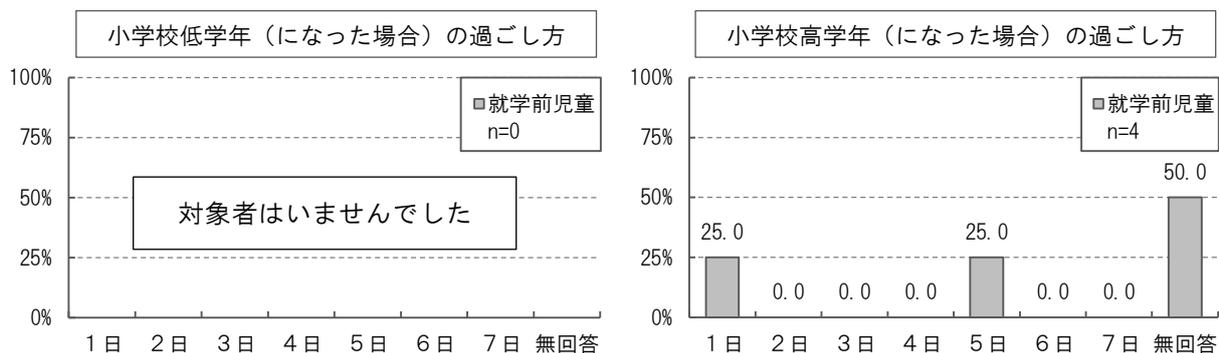
問26.6・問27.6 「放課後児童クラブ（学童保育）」希望日数（1週当たり）



問26.7・問27.7 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）

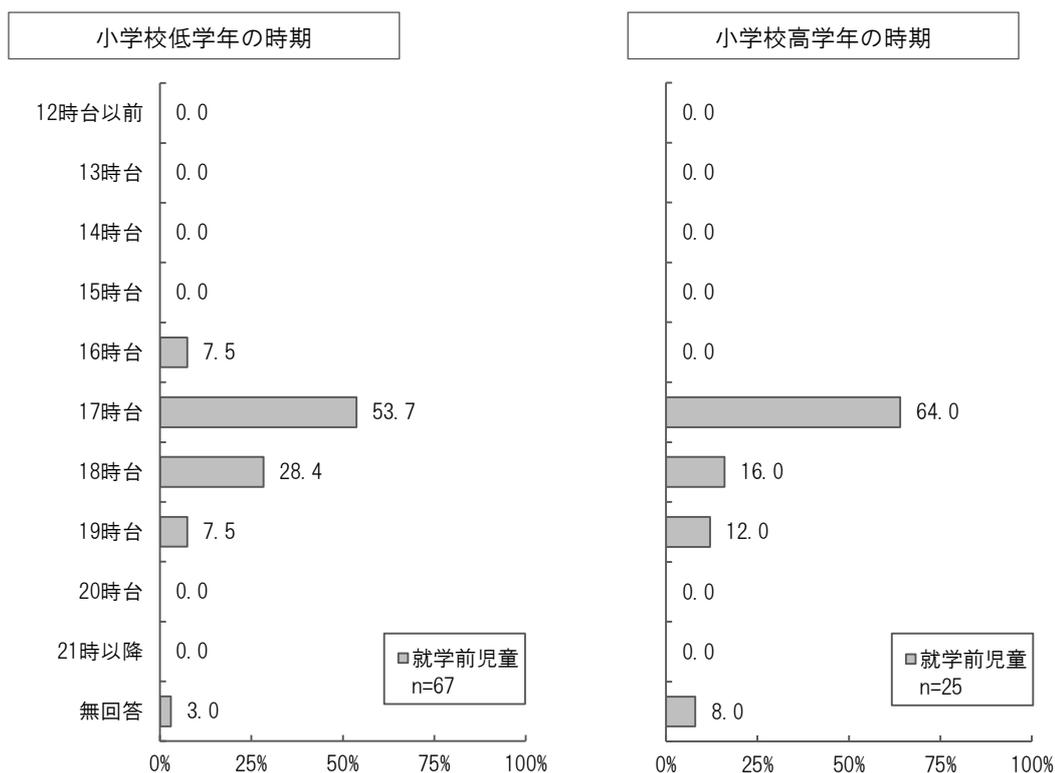


問26.8・問27.8 「その他（公民館、公園など）」希望日数（1週当たり）



○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、「17時台」（低学年時期53.7%・高学年時期64.0%）の割合が最も高くなっています。

問26.6・問27.6 「放課後児童クラブ」下校時からの利用希望時間

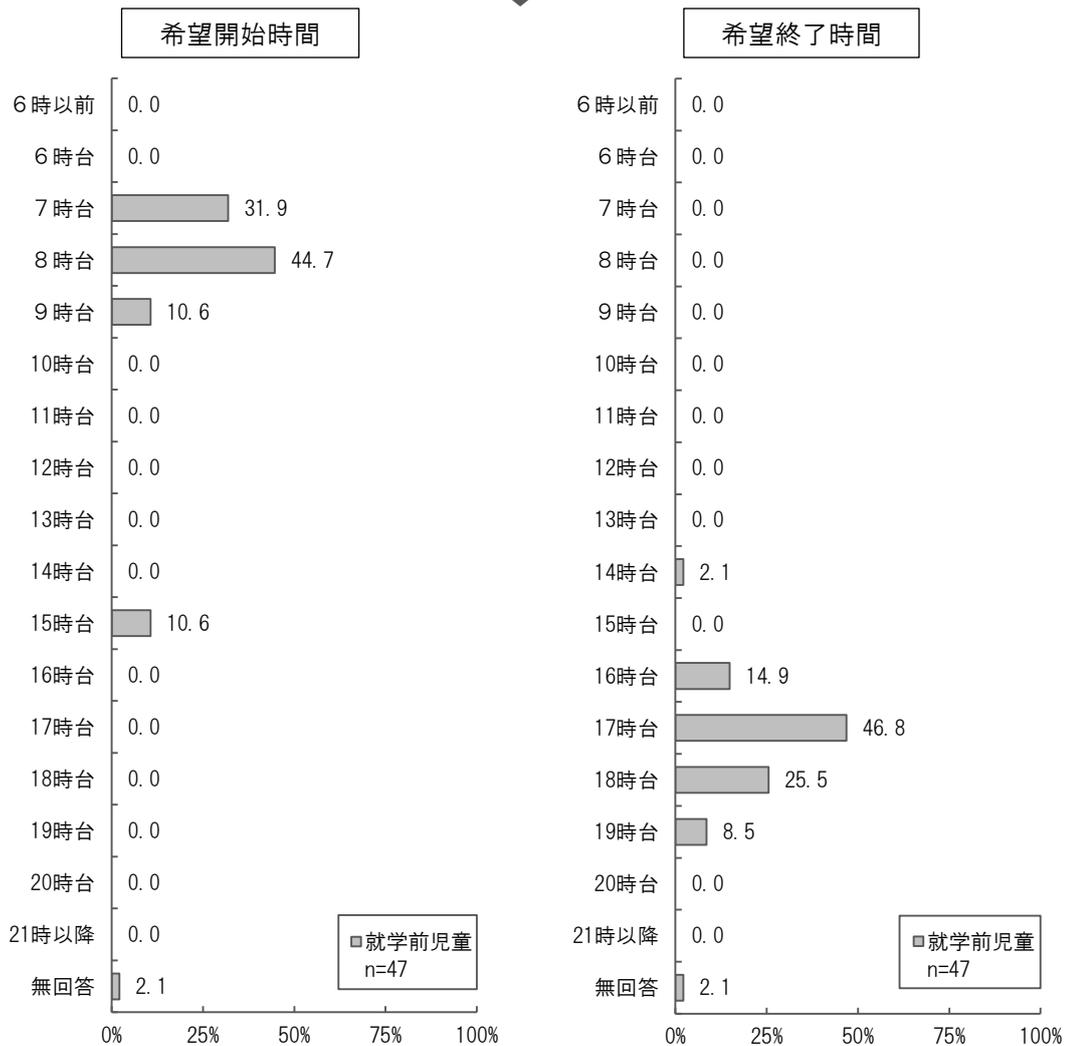
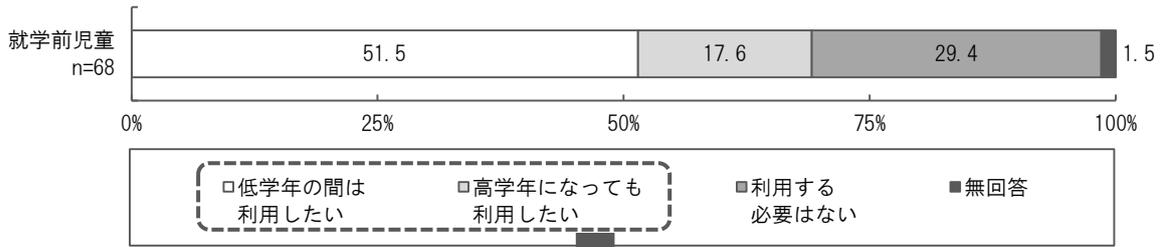


## (2) 土曜日と日曜・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

○放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」は51.5%となっています。また、「高学年になっても利用したい」は17.6%となっています。

○希望開始時間は「8時台」(44.7%)、希望終了時間は「17時台」(46.8%)で最も高くなっています。

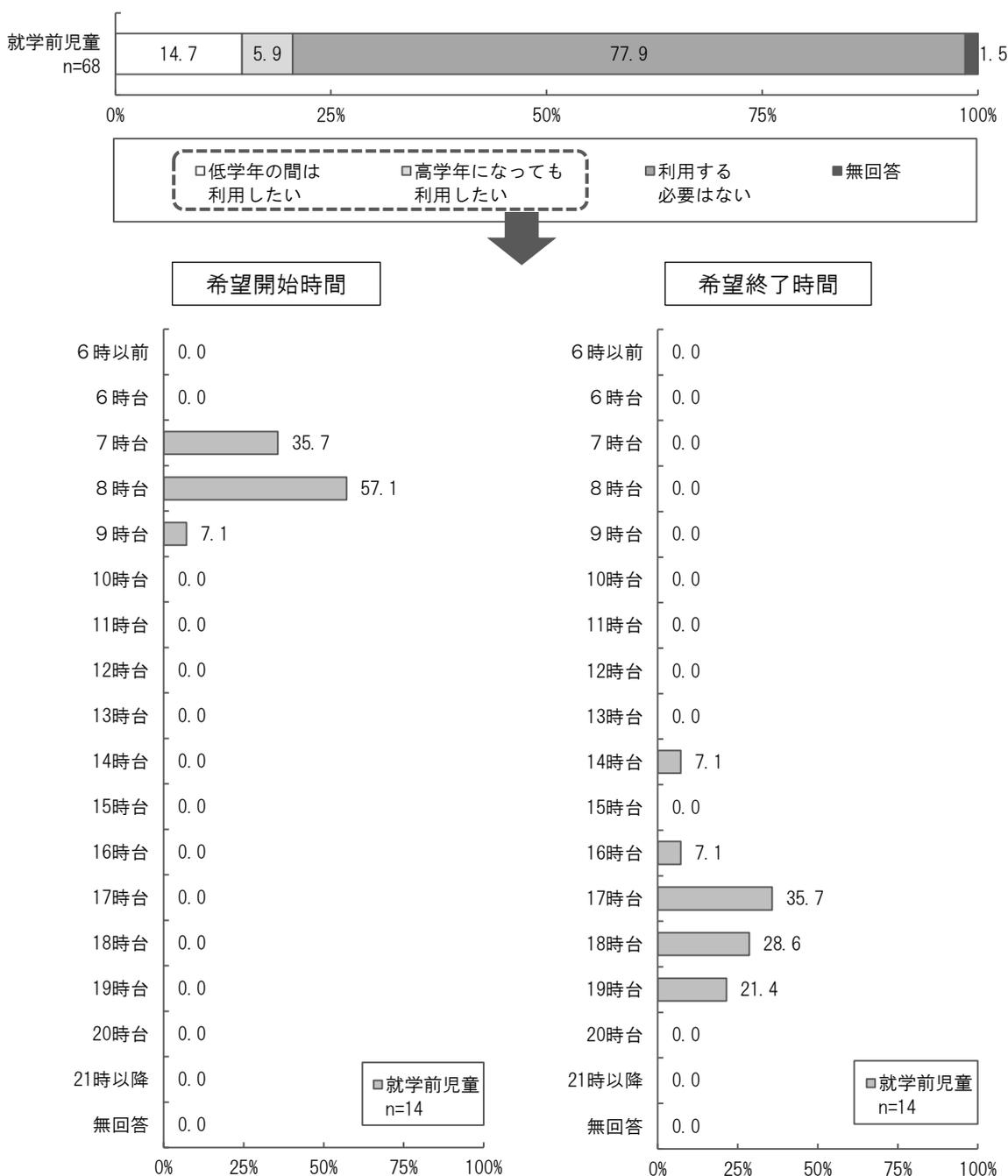
問28(1) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



○放課後児童クラブの日曜・祝日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」は14.7%となっています。また、「高学年になっても利用したい」は5.9%となっています。

○希望開始時間は、「8時台」(57.1%)、希望終了時間では「17時台」(35.7%)で最も高くなっています。

問28(2) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望



- 長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」は69.1%となっています。また、「高学年になっても利用したい」は26.5%となっています。
- 希望開始時間は、「8時台」(49.2%)、希望終了時間では「17時台」(50.8%)で最も高くなっています。

問29 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

